

5-1-3 基本計画

1) 配置計画

(1) 基本方針

各々のサイトは方位、面積、高低差、既存施設の構成等の特性が異なっており、統一した配置計画は出来ないが、教室の配置計画にあたっては下記の基本方針に従って行う。

- ① 既存施設との調和を配慮し配置する。
- ② 建て替え対象仮設教室といえども、施工中にも使用できるよう、出来る限り撤去せずにすむような配置とする。
- ③ 9タイプの教室棟を既存施設との間の限られたスペースを有効に利用し、高低差がある場合には、これを考慮して、所要の教室数を適切に配置する。

なお、各計画サイトの配置図は、巻末添付資料に収録した。

(2) 下表に各学区別の棟タイプを示す。

表5-1 IDEE別、棟タイプ別数

	棟タイプ									合 計	
	1教室	1教室 + 校 長	2教室	2教室 + 校 長	3教室	3教室 + 校 長	4教室	4教室 + 校 長	5教室	教室数	校長 + 倉庫
ダカール州											
1) グラン・ダカールI	2	0	4	0	1	0	0	0	0	13	0
2) ダカール・バンリユー	3	0	2	2	5	8	0	0	0	50	10
3) ビキン	0	0	3	4	1	0	0	1	0	21	5
4) ゲダウエイ	1	0	3	1	9	4	0	0	0	48	5
5) チャロイエ	1	2	1	0	3	6	0	1	1	41	9
6) ルフィスクII	7	0	6	7	3	11	0	0	0	75	18
ティエス州											
1) ウンブール	1	1	2	9	7	12	1	0	0	85	22
2) テイエス市	1	1	3	4	4	6	0	0	0	46	11
3) テイエス県	2	0	4	23	0	4	0	0	0	68	27
4) ティバウアン	0	0	4	12	4	7	0	0	0	65	19
合 計	18	4	32	62	37	58	1	2	1	512	126

2) 建築計画

(1) 建築計画

建築計画に際しては、現地の自然条件とサイトの状況を考慮し、できる限り維持管理の容易な施設計画を行う。

維持・管理……維持管理予算の不足から、セネガルの小学校では窓ガラス等が破損した場合、取替えが困難である。このため世銀、OPEC等の援助の教室は窓ガラスを使用せず、鋼製可動ガラリを使用している。ちなみに、古い時代に建てられた教室とFED援助の教室に使用されている窓ガラスは、ほとんど破損したまま放置されている。本プロジェクトでもメンテナンスフリーを目指して、鋼製可動ガラリを使用する。

通風……ダカール州とティエス州の平均気温は21~27°Cと高いので、教室の環境は換気のため外気に開放されていることが望ましい。従って、上記の可動ガラリを教室の両側に設け、自然の通風を得るように計画する。

防砂……ダカール州、ティエス州一帯は砂地が多く、強風時には教室内へ細砂が入りこむので、教室を使用していない時または強風時には閉じられるようガラリは可動とする。

採光……セネガルの小学校教室には、ほとんど照明設備は設けられていない。本プロジェクトでも、照明設備を設けず、風強時にガラリを閉じても教室を使用できるよう、採光用のガラスブロックを壁の上部に設ける。

塩害……ダカール州は大西洋に突きだした半島上にあるため、海風の影響を受け塩害が多い。鉄部の防錆には十分配慮し、錆止塗装を施した上に適切な仕上塗装を施す。

また、屋根材には強度と耐候性のある亜鉛メッキを施した金属折版を採用する。

床高……風による建物周辺の表面の砂の移動があり、接地面が変わることがあるので、床高を少し高くした計画とする。

防犯……防犯のため、窓、扉を強固な鋼製とし、扉には錠を設ける。

(2) 構造計画

① 建築工法

建物の構造は下記のセネガルの一般在来工法を採用する。

教室棟（校長室・倉庫含む）

基礎……鉄筋コンクリート造直接基礎

床……鉄筋コンクリート造

壁……コンクリートブロック積

屋根……亜鉛鍍金属折版（小屋組なし）

② 構造設計

床積載荷重……150～200kg/m²

風 荷 重……100kg/m²

地 震 荷 重……考慮しない。セネガルでは地震の記録はない。

地 耐 力……10T/m²

基 礎……直接地盤に支持させる鉄筋コンクリート造布基礎

床 ……鉄筋コンクリート造

③ 使用材料

構造材として使用する材料はすべて現地産または輸入品を現地で調達する。

セメント 普通ポルトランドセメント（現地産）

骨材 碎石、川砂（現地産）

鉄筋 異型鉄筋（輸入品）

(3) 建築資材計画

① 主要構造材

基礎・床版……鉄筋コンクリート

壁 ……コンクリートブロック積

屋 根……亜鉛鍍金属折版

② 外部仕上

屋 根……亜鉛鍍金属折版

外 壁……モルタル下地の上吹付材（現地の一般的仕上）

外 部 床……モルタル鍍押え（現地の一般的仕上）

開 口 部……扉 : ガラリ付鋼製扉、塗装

窓 : 鋼製可動ガラリ窓、塗装

明窓: ガラスブロック

(3) 内部仕上

床 ……モルタル鍍押え（現地の一般的仕上）

内 壁……モルタル下地の上塗装（現地の一般的仕上）

天 井……屋根材あらわし

3) 機材計画

(1) 機材の内容

学校備品として下記の機材を整備する。

① 生徒用机および椅子

1教室に2人用の生徒用机および椅子を27セット備える。

② 教員用机および椅子

1 教室に教員用机および椅子を1セット備える。

③ 校長用机および椅子

校長室に校長用机および椅子を1セット備える。

④ 黒板 教室に1箇

⑤ 戸棚 教室に1箇

(2) 機材仕様

後日の補修を考慮してすべて現地調達品とする。

① 生徒用机および椅子

2人用、机・椅子一体型（教育省仕様）、木製

寸法：W=1,200、D=900、H=600

② 教員用机および椅子

木製、机寸法：W=1,200、D=800、H=850

③ 校長用机および椅子

教員用のものと同仕様

④ 黒板

壁にモルタル塗り金鍍仕上の上塗装、現地の標準仕様（建築工事に含む）

⑤ 戸棚

コンクリート・ブロック袖壁、木製扉、木製棚4段

4) 塀建設用のコンクリート・ブロックの供与

施設および機材の他に、セネガル側負担工事として実施するコンクリート・ブロック塀の建設に対して、その建設材料としてコンクリート・ブロックを供与する。

(P.86図参照)

構造：無筋コンクリート基礎、中空コンクリートブロック積

高さGL+1,900mm、厚さ200mm

コンクリート・ブロック：200×200×400mm

5) 基本計画一覧表

以上の検討結果に基づき、各対象校別の所要施設等は次表の通りである。

表5-2 計画サイト別棟タイプ等

註] は新設校を示す。

学校名	棟タイプ									教室数	校長 倉庫	供 与 CB (m)
	1教室	1教室 + 校長	2教室	2教室 + 校長	3教室	3教室 + 校長	4教室	4教室 + 校長	5教室			
1.クラン・タカールI												
GD-1 ファイナル・ニヤク	1		2							5	0	194
GD-2 マス・マツリ・ニヤク・1			1							2	0	
GD-3 マス・マツリ・ニヤク・3	1		1							3	0	
GD-4 ウマール・ハット・ワーン					1					3	0	
小 計	2	0	4	0	1	0	0	0	0	13	0	194
2.タカール・ハンソウ												
DB-1 ハールセル・アヒニ・U16			1	1						4	1	337
DB-2 ハールセル・アヒニ・U15					1	1				6	1	317
DB-3 フロント・テール	2					1				5	1	
DB-4 カスター・アヒニ						1				3	1	
DB-5 ヨフ・アヒニ・ール					1					3	0	
DB-6 ハールセル・アヒニ・“R”					1					3	0	154
DB-7 ハールセル・アヒニ・U8						1				3	1	281
DB-8 カール・ヤツ						1				3	1	
DB-9 H・L・M・クラン・ヨフ・2					1	1				6	1	
DB-10 シテ・イマライ						1				3	1	
DB-11 ハールセル・アヒニ・U17			1							2	0	299
DB-12 //・//・ U18						1				3	1	324
DB-13 H・L・M・クラン・ヨフ					1					3	0	
DB-14 ヨフ・4	1			1						3	1	
小 計	3	0	2	2	5	8	0	0	0	50	10	1,712
3.ヒッキン												
PK-1 タル・ヒッキン			1							2	0	
PK-2 トウハ・ディアクサ				1						2	1	
PK-3 エル・H・エリアン・ウツ・キエ					1					3	0	
PK-4 イアラマ・ウツ・オ			1							2	0	
PK-5 マフタ・ン・アハ								1		4	1	
PK-6 タル・クトス				1						2	1	
PK-7 ハール・セック			1	1						4	1	
PK-8 コハ・ン・ラッセル・B				1						2	1	
小 計	0	0	3	4	1	0	0	1	0	21	5	0
4.クタクエイ												
GW-1 タル・ラマ						1				3	1	
GW-2 ヒッキン・16			1	1						4	1	100
GW-4 ヒッキン・20					1					3	0	
GW-5 ヒッキン・23					2	1				9	1	
GW-6 シェイク・アツ	1				1					4	0	
GW-7 ハールセル・アヒニ “Z”					1					3	0	
GW-8 アヒニ・4			2							4	0	229
GW-9 アヒニ・アヒニ・4					3	1				12	1	194
GW-10 アヒニ・アヒニ・4					1	1				6	1	
小 計	1	0	3	1	9	4	0	0	0	48	5	523

学校名	棟タイプ									教室数	校長 + 倉庫	供 与 CB (回)
	1教室	1教室 + 校長	2教室	2教室 + 校長	3教室	3教室 + 校長	4教室	4教室 + 校長	5教室			
5.チヨビ												
TR-2 ウンハ ^イ ・デ ^イ ウ ^フ		1							1	6	1	
TR-3 ケル・ウンハ ^イ ・ファ ^ル	1							1		5	1	
TR-4 マム・ワス・ル・セ ^{ツク}					1					3	1	
TR-5 ルセ・アンタ・デ ^イ ウ ^フ		1			1					4	1	
TR-6 アフメット・ウ					1					3	1	
TR-7 ファス・ハ ^イ ヨ ^ト			1							2	0	
TR-8 ケル・ウンハ^イ・ファ^ル					1	1				6	1	235
TR-9 ケル・ウンハ^イ・ファ^ル						1				3	1	216
TR-10 ケル・ウンハ^イ・ファ^ル					1	1				6	1	
TR-11 ケル・ウンハ^イ・ファ^ル						1				3	1	163
小 計	1	2	1	0	3	6	0	1	1	41	9	614
6.フェイスII												
RF-1 ヨハ ^ン ヌ・1	1				1	1				7	1	
RF-2 ク ^イ ム・ウ ^ツ ・A						1				3	1	
RF-3 ヨハ ^ン ヌ・1・北					1	1				6	1	
RF-4 カスト ^ル ・ソ ^ラ ム			1	1						4	1	
RF-5 ハ ^ル ニ ^ー 女子校				1						2	1	
RF-6 ハ ^ル ニ ^ー 共学校			1			1				5	1	
RF-7 タ ^ル ー2						1				3	1	
RF-8 シ ^ト ウ				1						2	1	
RF-9 キ ^ツ フ [°] ・キ ^ツ フ [°]	2		1							4	0	
RF-10 テ ^ニ ・ヒ ^ラ ム・ウ ^ツ ・オ			1	1						4	1	
RF-11 コ ^ロ ム・1				1						2	1	
RF-12 ケ ^ル ・ウ ^ツ ・ヤ ^イ ・ロ	1		1			1				6	1	
RF-13 ニ ^ヤ カ [°]			1	1						4	1	149
RF-14 ク ^ス ・ヌ	2					1				5	1	
RF-15 セ ^ビ ・ホ ^ン テ ^イ	1			1	1					6	1	
RF-16 ト ^ウ ハ ^ー ・フ [°] ・デ ^イ ウ ^フ						1				3	1	
RF-17 ケル・ウンハ^イ・ファ^ル						1				3	1	
RF-18 メ ^テ ・イ ^ー ・テ ^イ ウ ^フ						1				3	1	
RF-19 ケル・ウンハ^イ・ファ^ル						1				3	1	
小 計	7	0	6	7	3	11	0	0	0	75	18	149
7.ウツ [°] ル												
MB-1 テ ^ン ハ [°] ・デ ^イ ウ ^マ ・ファ ^イ	1				1	1				7	1	
MB-2 ソ ^カ リ ^ン						1				3	1	
MB-3 ケ ^ニ ア [°] ル					1	1				6	1	
MB-4 ウ ^マ ・ル [°] ・ク ^イ							1			4	0	
MB-5 タ ^カ ・コ ^ル ハ [°]					1	1				6	1	
MB-6 ケ ^ル ・ハ ^ラ		1								1	1	
MB-7 ウ ^ツ ・ロ ^{ツク}				1						2	1	
MB-8 ソ ^フ				1						2	1	
MB-9 ホ [°] ・ソ ^キ ・ヌ [°] ・2			1	1						4	1	211
MB-10 ケ ^レ オ				1	1					5	1	
MB-11 ウ ^ツ ・コ ^{ツク}						1				3	1	

学校名	棟タイプ									教室数	校長 倉庫	供 与 CB (㎡)
	1教室	1教室 + 校長	2教室	2教室 + 校長	3教室	3教室 + 校長	4教室	4教室 + 校長	5教室			
MB-12 ヨビム・フナ・ウツヤイ				1						2	1	132
MB-13 ショボ・フナ・ウツヤイ					1					3	0	
MB-14 セリ・ニュー・C・A・ウツヤイ				1	1					5	1	
MB-15 シラカ						1				3	1	
MB-16 タル・サラム			1	1						4	1	231
MB-17 キー				1						2	1	
MB-18 コル・シヨクル・フアイ				1						2	1	
MB-19 フィセル・2						1				3	1	
MB-21 シヨボ・フナ・ウツヤイ						1				3	1	
MB-22 シヨボ・フナ・ウツヤイ						1				3	1	
MB-23 シヨボ・フナ・ウツヤイ					1	1				6	1	
MB-24 シヨボ・フナ・ウツヤイ						1				3	1	
MB-25 シヨボ・フナ・ウツヤイ						1				3	1	
小 計	1	1	2	9	7	12	1	0	0	85	22	574
8.テイイス市												
TC-1 カハ・サル			1							2	0	
TC-2 アイニ・ファル					1					3	0	
TC-5 セリ・ニュー・アッサ・ヌ・ファル			1							2	0	
TC-6 ガア・リル・ウン・テイ・オン	1			1						3	1	
TC-7 ラマン・ウン・ゴマック・フアイ				1						2	1	
TC-8 テイス・ノン			1	1						4	1	362
TC-9 エル・H・フ・ハ・カ・ル・ウツヤイ				1	1					5	1	
TC-10 サイフ・ウツヤイ					1	1				6	1	
TC-11 アト・ウツヤイ						1				3	1	
TC-12 イツ・ソク		1								1	1	
TC-14 シヨボ・フナ・ウツヤイ						1				3	1	
TC-15 シヨボ・フナ・ウツヤイ					1	1				6	1	
TC-16 シヨボ・フナ・ウツヤイ						1				3	1	
TC-17 クラフ・2/3・フタ・ウツヤイ						1				3	1	
小 計	1	1	3	4	4	6	0	0	0	46	11	362
9.テイイス県												
TD-1 エン・ル・2			1							2	0	
TD-2 フト・2						1				3	1	
TD-3 ウン・テイ・オン・テイイス	1									1	0	
TD-4 ウン・テイ・オン・テイ・オン				1						2	1	
TD-5 ベル・テイ・オン				1						2	1	
TD-6 クラ				1						2	1	
TD-7 コラム						1				3	1	
TD-8 スン・セル・ル			1	1						4	1	
TD-9 ケル・テイ・オン・ウツヤイ				1						2	1	
TD-10 ケル・フタ・ライ・テイ・オン	1									1	0	
TD-11 エル・H・フタ・ウツヤイ				1						2	1	
TD-12 ケル・ル				1						2	1	266
TD-13 ウン・テイ・オン・ゴム			1							2	0	
TD-14 ウン・フタ・ライ・ウツヤイ				1						2	1	

学校名	棟タイプ									教室数	校長 倉庫	供 与 CB (回)
	1教室	1教室 + 校長	2教室	2教室 + 校長	3教室	3教室 + 校長	4教室	4教室 + 校長	5教室			
TD-15 セオ・カ仁				1						2	1	
TD-16 ウンフ・脚仁				1						2	1	
TD-17 セリス・イフ・セマ・セツ			1			1				5	1	
TD-18 サメル・ウト・ウル				1						2	1	
TD-19 ニアキツ				1						2	1	
TD-20 ウンハン・ナ				1						2	1	
TD-21 ケ・ロ・ル				1						2	1	
TD-22 キニツ				1						2	1	
TD-23 ティウカヌ						1				3	1	
TD-24 ヒ・ル・タリ				1						2	1	
TD-25 ケル・カ・テ・イ・ア				1						2	1	
TD-26 ケル・カ・テ・イ・ア				1						2	1	
TD-27 ケル・カ・テ・イ・ア				1						2	1	
TD-28 ケル・カ・テ・イ・ア				1						2	1	
TD-29 ケル・カ・テ・イ・ア				1						2	1	
TD-30 ケル・カ・テ・イ・ア				1						2	1	
TD-31 ケル・カ・テ・イ・ア				1						2	1	
小 計	2	0	4	23	0	4	0	0	0	68	27	266
10.ティウ・ウフ												
TV-1 メック・4				1						2	1	
TV-2 メック・3						1				3	1	
TV-3 ウンカ・デアム				1						2	1	
TV-4 ティウ・ウフ・3						1				3	1	
TV-5 // 4					3	1				12	1	450
TV-6 // 7						1				3	1	194
TV-7 カト・ウ・ヒ・ティル				1						2	1	
TV-8 ノット・グ・イ・デアム				1						2	1	
TV-9 ウンタツ						1				3	1	
TV-10 ケル・ウン・デアム				1						2	1	
TV-11 ウン・ヤ・イ・ホツ						1				3	1	
TV-12 タカ						1				3	1	
TV-13 メリ・ナ・タ・ル			2							4	0	
TV-14 ティアマク・エヌ				1						2	1	
TV-15 ティルマツカ			1							2	0	
TV-16 ヒラム・ティ・イ・I・NG・ファル				1						2	1	
TV-17 フルム				1						2	1	
TV-18 セケル・ティウ				1						2	1	
TV-19 トウニヤン				1						2	1	
TV-20 ケル			1							2	0	189
TV-21 ケル・カ・テ・イ・ア				1	1					5	1	
TV-22 カル				1						2	1	
小 計	0	0	4	12	4	7	0	0	0	65	19	833
合 計	18	4	32	62	37	58	1	2	1	512	126	5,227

以上の検討により設定した本計画の施設規模は下記の通りである。

(1) 施設

①	1 教室棟	$66.24 \text{ m}^2 \times 18 =$	1192.32 m^2
②	校長室付き 1 教室棟	$87.84 \text{ m}^2 \times 4 =$	351.36 m^2
③	2 教室棟	$132.48 \text{ m}^2 \times 32 =$	4239.36 m^2
④	校長室付き 2 教室棟	$154.08 \text{ m}^2 \times 62 =$	9552.96 m^2
⑤	3 教室棟	$198.72 \text{ m}^2 \times 37 =$	7352.64 m^2
⑥	校長室付き 3 教室棟	$220.32 \text{ m}^2 \times 58 =$	12778.56 m^2
⑦	4 教室棟	$264.96 \text{ m}^2 \times 1 =$	264.96 m^2
⑧	校長室付き 4 教室棟	$286.56 \text{ m}^2 \times 2 =$	573.12 m^2
⑨	5 教室棟	$331.20 \text{ m}^2 \times 1 =$	331.20 m^2

合 計 36636.48 m^2

(2) 機 材

⑩	生徒用机および椅子 (2 人用)	$27 \text{ セット} \times 512 \text{ 教室} =$	$13,824 \text{ セット}$
⑪	教員用机および椅子	$1 \text{ セット} \times 512 \text{ 教室} =$	512 セット
⑫	校長用机および椅子	$1 \text{ セット} \times 126 \text{ 教室} =$	126 セット
⑬	黒 板	$1 \text{ 箇} \times 512 \text{ 教室} =$	512 箇
⑭	戸 棚	$1 \text{ 箇} \times 512 \text{ 教室} =$	512 箇

(3) コンクリート・ブロック供与

⑮	高さ G L + 1,900、厚さ 200 ㎜用コンクリート・ブロック	延 5,227 m 分
---	-------------------------------------	-------------

6) 基本設計図

1. 教室棟標準設計図 (校長室付 2 教室棟)

平面図、立面図、断面図、仕上表

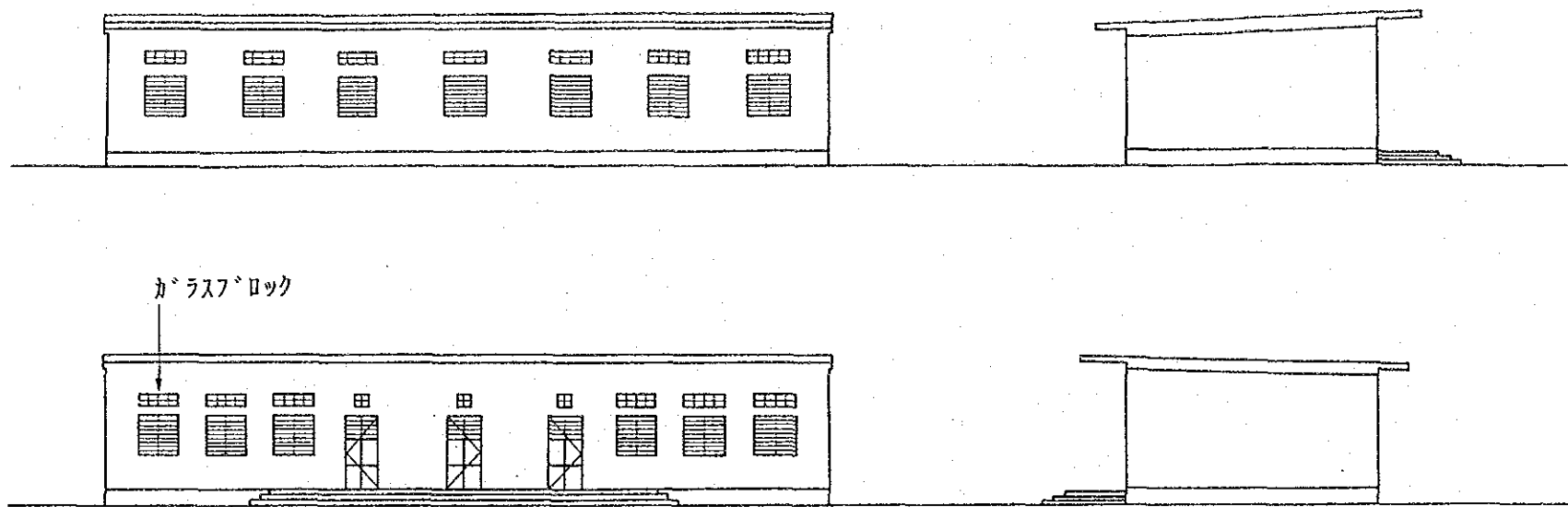
2. 教室棟基本平面図 その 1

- ① 1 教室棟
- ② 校長室付 1 教室棟
- ③ 2 教室棟
- ④ 校長室付 2 教室棟
- ⑤ 3 教室棟
- ⑥ 校長室付 3 教室棟

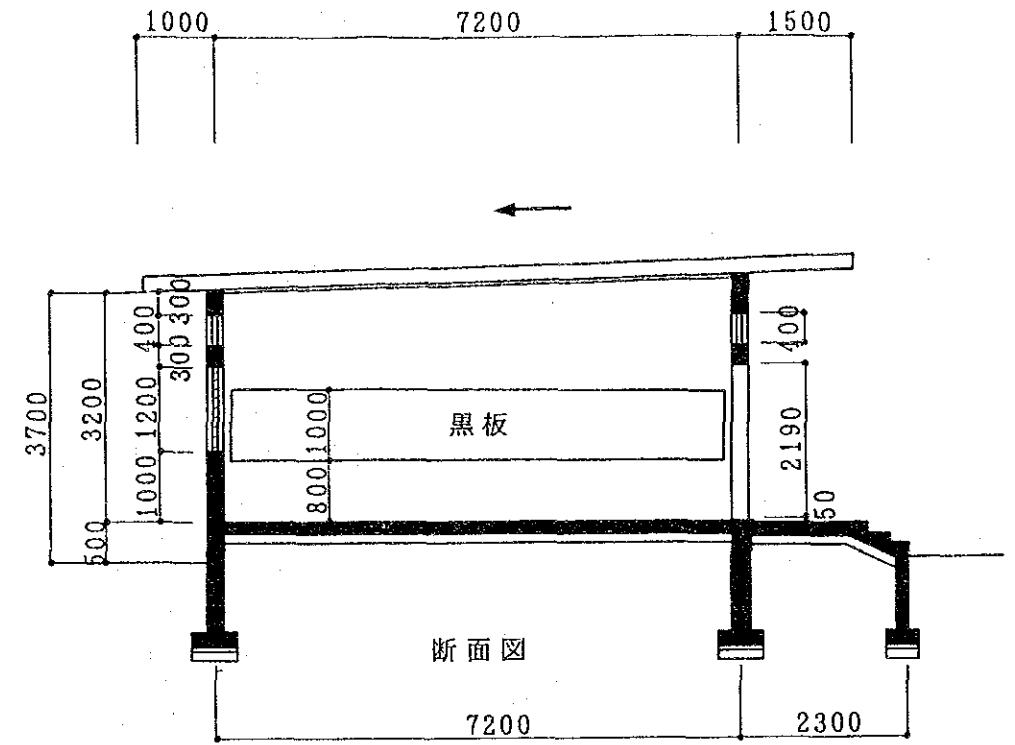
3. 教室棟基本平面図 その 2

- ⑦ 4 教室棟
- ⑧ 校長室付 4 教室棟
- ⑨ 5 教室棟

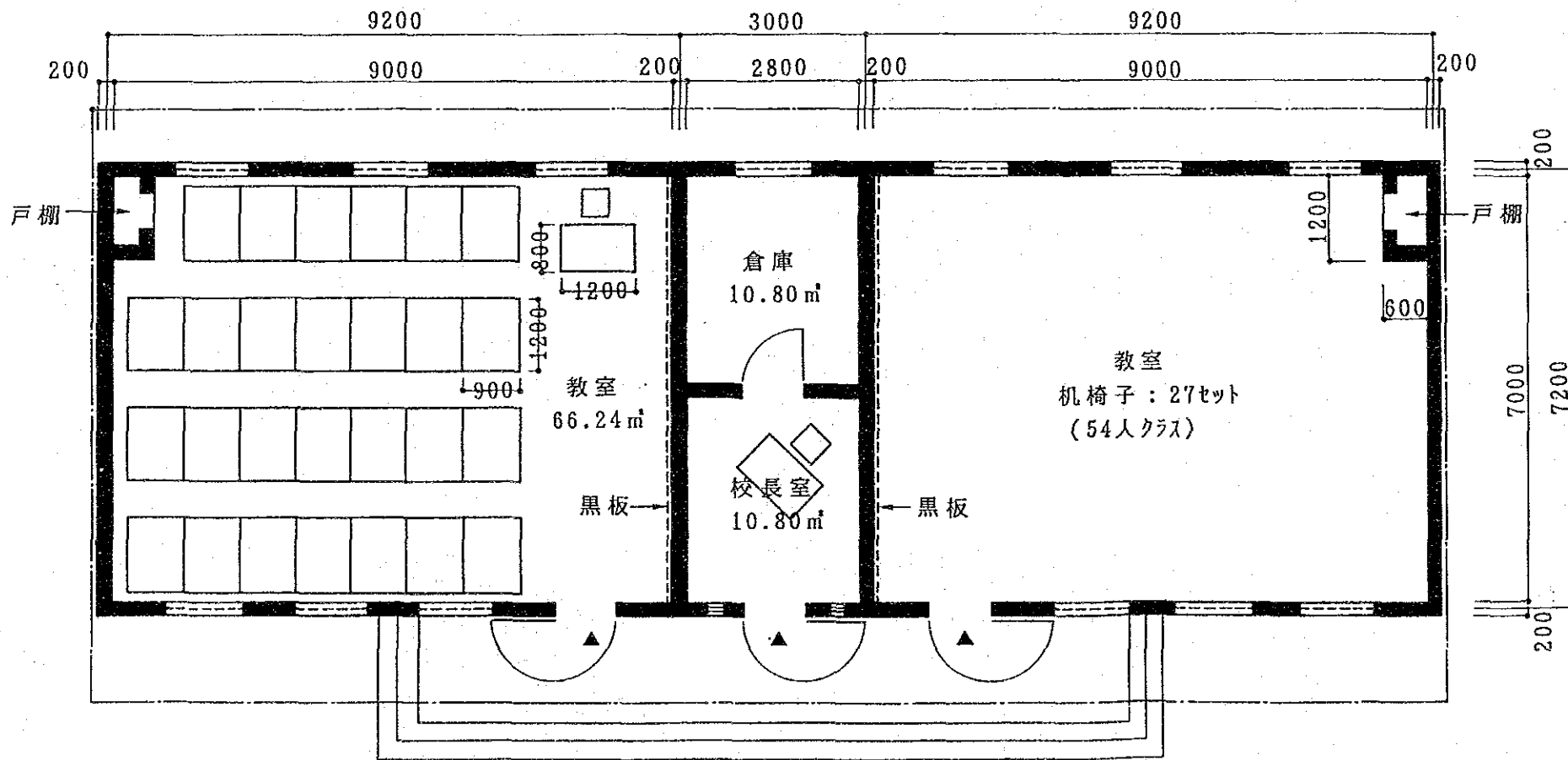
4. 教室棟断面詳細図



立面図



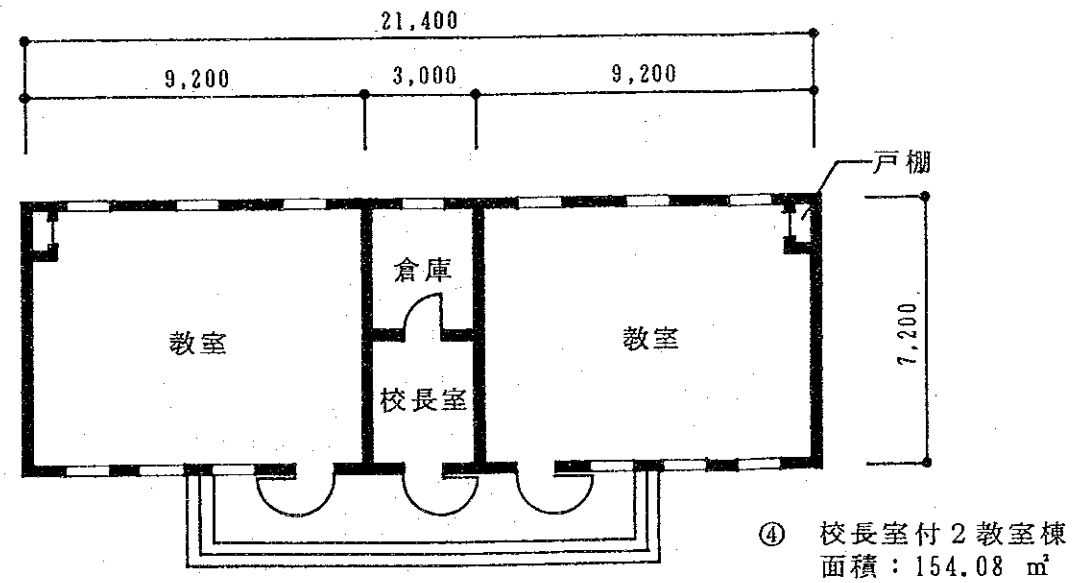
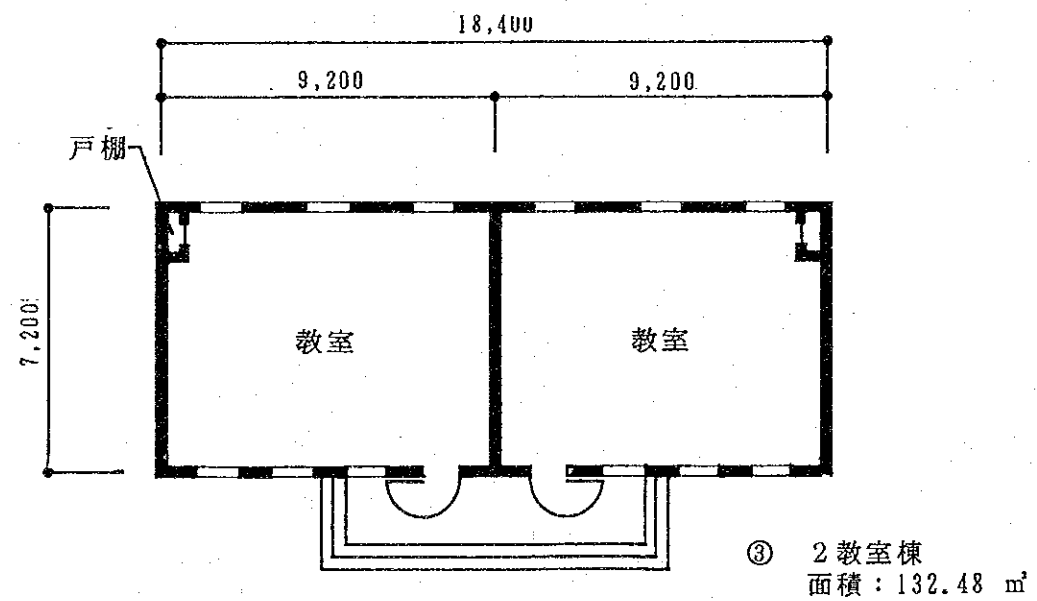
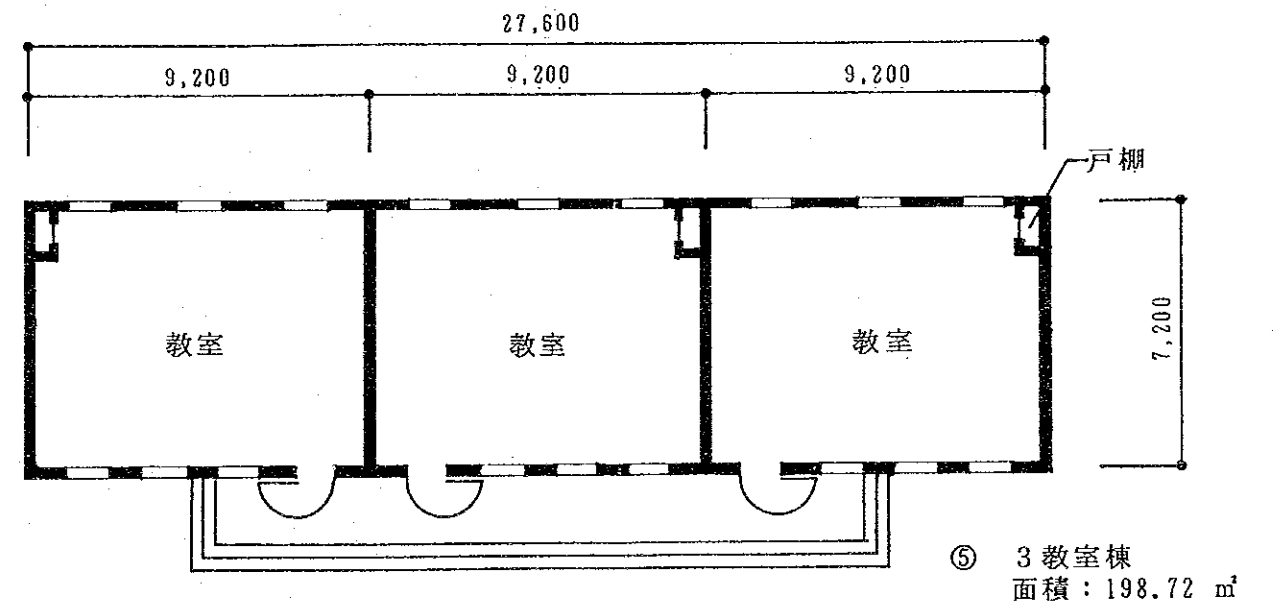
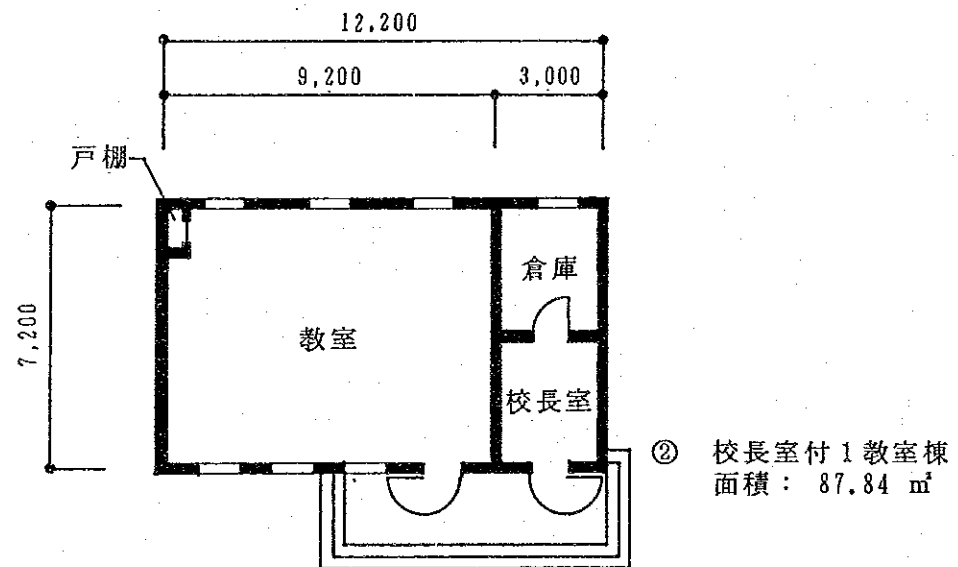
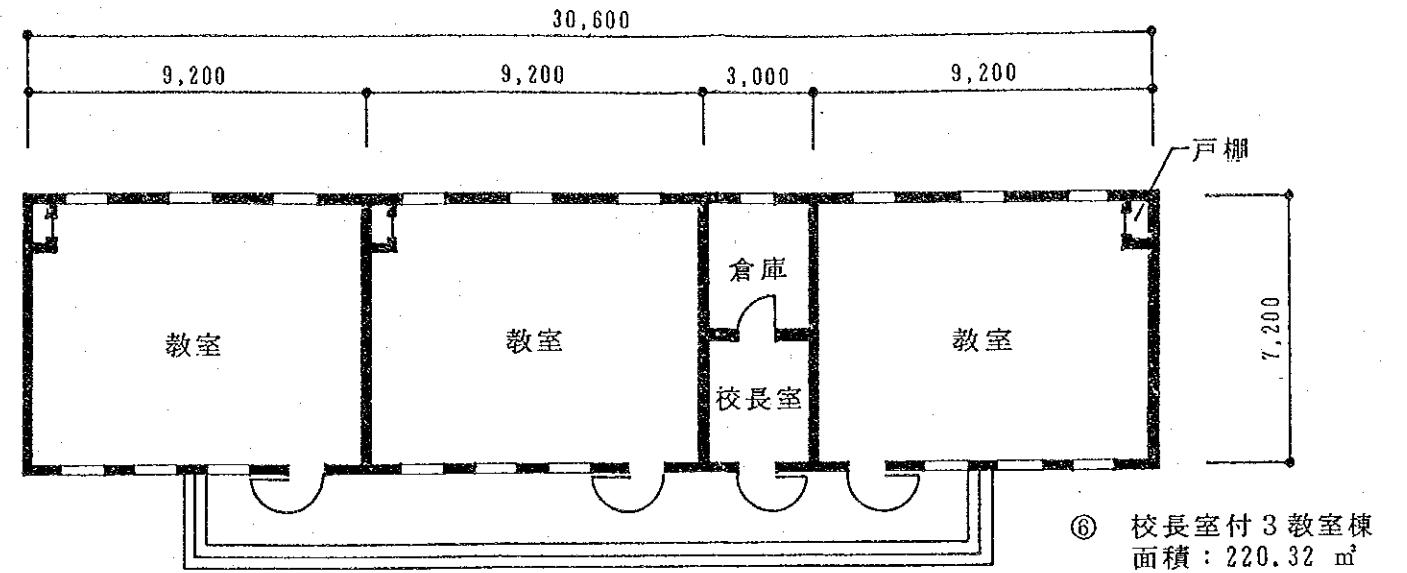
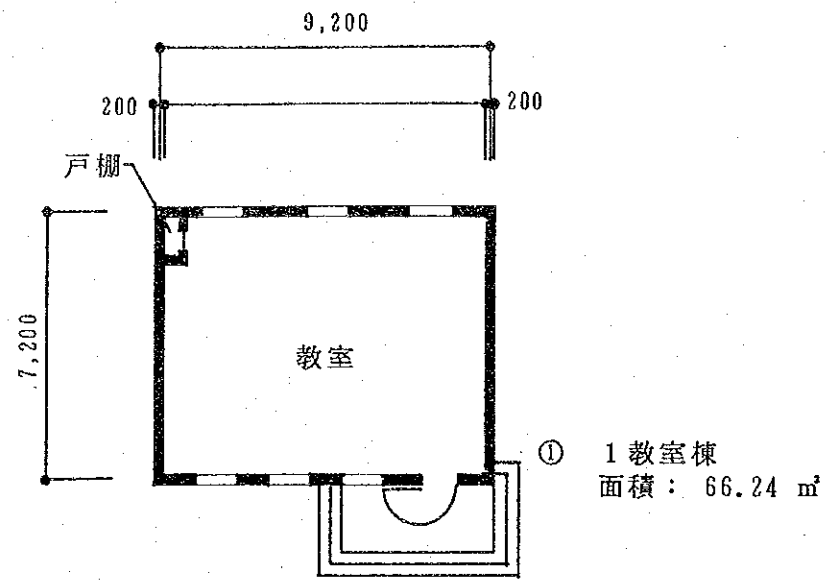
断面図

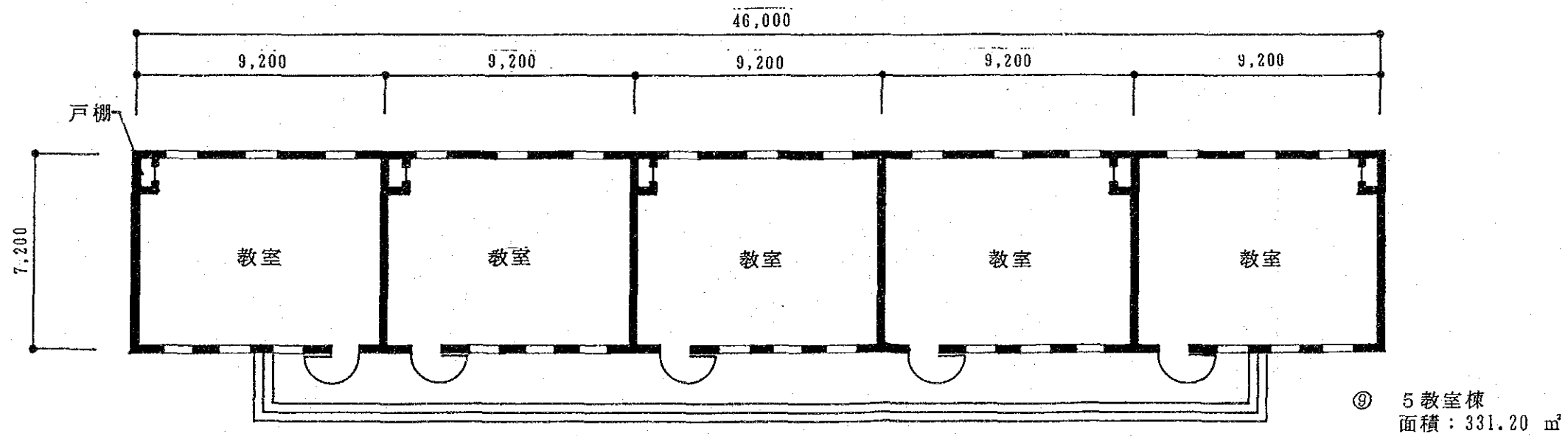
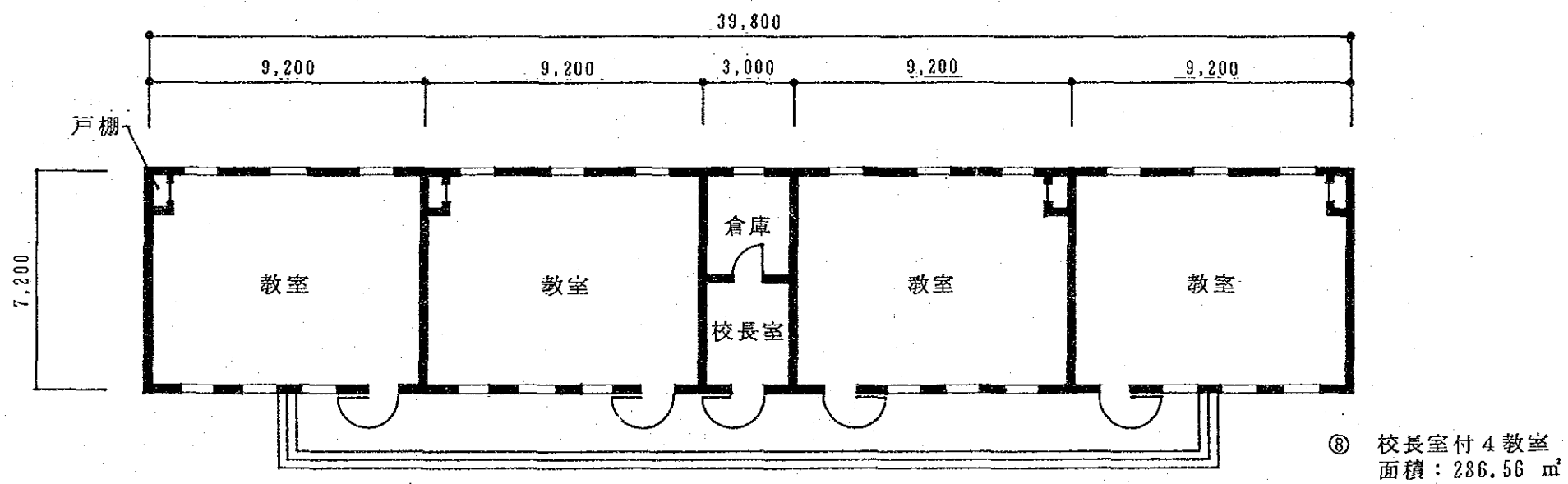
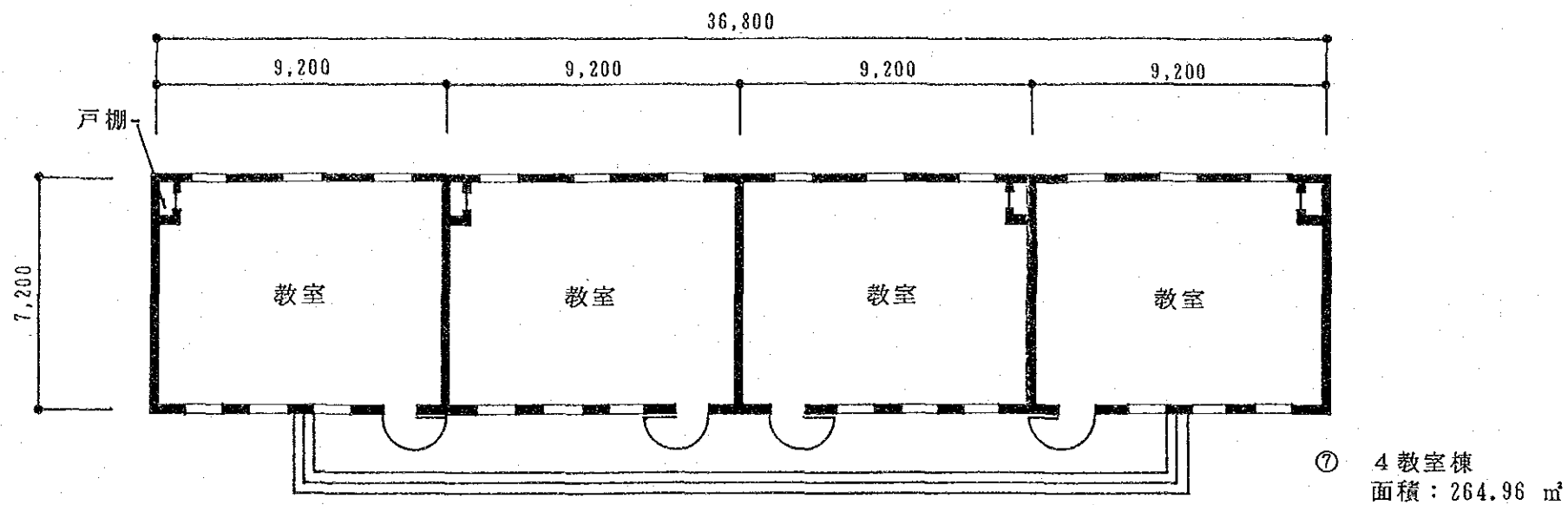


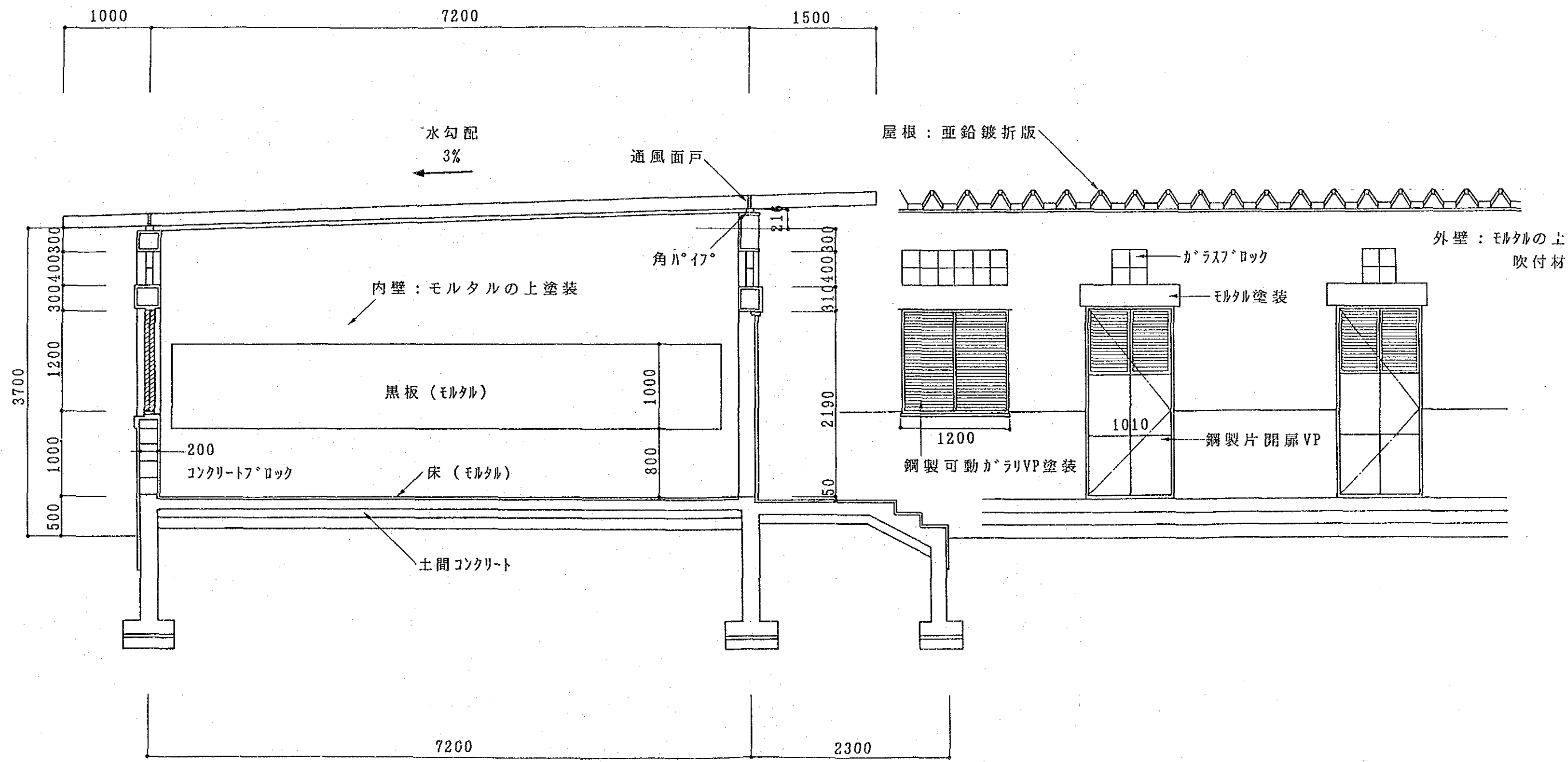
平面図

- 仕上表
- 屋 根 : 亜鉛鍍金属折版
 - 壁 : 鉄筋コンクリート骨組コンクリートブロック造
内壁/モルタルの上VP塗装
外壁/モルタルの上吹付材
 - 床 : 鉄筋コンクリート造モルタル仕上
 - 基 礎 : 鉄筋コンクリート造布基礎
 - 開口部 : 窓/鋼製可動ガラス VP塗装
上部窓/ガラスブロック (採光)
扉/鋼製片開扉VP (ガラス付)
 - 黒 板 : モルタル塗装黒板
 - 戸 棚 : 木製扉、木製棚4段

1. 教室棟標準設計図 (校長室付 2教室棟)
(平面図、立面図、断面図、仕上表)







4. 教室棟断面詳細図

5-1-4 施工計画等

1) 実施方針

本プロジェクトのセネガル国側の実施機関は、国民教育省である。また、大蔵省が海外援助受入れの責任機関として、二国間取決めに関する業務を行う。

本プロジェクトの施設建設と機材整備については、無償資金協力方式に基づいて、日本のコンサルタントが実施設計業務、入札契約業務および施工監理業務を行う。

施設建設および機材とコンクリート・ブロックの納入は、日本の建設業者で海外工事に豊富な経験を持ち、定められた工期内に工事を完成する能力を有し、かつ無償資金協力の仕組みをよく理解している業者の中から、入札で選ばれたものによって行われる。

工事に使用する資材および工法については、敷地の立地条件、現地産材料の品質と供給能力、完成後の補修工事の容易さなどを考慮して、できる限り現地で入手できる資材を活用し、現地に適した工法を採用する。

2) 建設事情および施工

(1) 建設事情

首都ダカールには、フランス系、イタリア系、レバノン系あるいは中国系の資本の入った大手建設会社から、特定の職種、例えば、塗装、内装、設備等を行う下請業者まで、各種存在する。

ダカール市内では高層のビル建設も行なわれており、施工のレベルは高く、本プロジェクトを実施するに十分な能力を有している。

(2) 雨期による影響

ダカール州とティエス州の気候は、雨期（6月～10月）と乾期（11月～5月）に分かれ、雨期の降雨日数は45日前後である。一方、乾期の間には雨は一滴も降らない。平均降雨量は一番雨の多い8月で250mm/m程度であるが、一日中降っていることはなく、雨期の建設工事が可能である。また、建設候補地までの道路事情も良く、雨期による影響はない。

(3) 施工上の特徴

本プロジェクトの特徴は、所要教室数を敷地の状況に応じて、教室棟単位を計画サイトに適切に配置することである。計画サイト当りの規模は各サイトによって異なるが平均300㎡程度であり、建物は平屋建てで工法も現地の一般的なもので、技術的には特に問題はない。

本プロジェクトの特徴は、

- ① 計画サイトがダカール州とティエス州に広範囲に点在している。
- ② 小規模な教室棟で棟数が多い。
- ③ 建設が既存小学校の敷地内の場合は、授業を続けながら工事を行う必要がある。等である。従って、施工計画とともに、資材搬入計画についても、場所、時期、生

徒の安全性等に対して注意を払う必要があり、仮囲い等の必要がある。

(4) 輸送事情

本プロジェクトでは日本から輸送する建設資材はなく、現地ですべて調達できる。ダカール州およびティエス州内の主要道路は舗装されていて、現地の道路事情はよく、輸送上の問題はない。

3) 施工監理計画

本プロジェクトの円滑なる進行のためには、日本政府諸機関、セネガル政府諸機関、コンサルタント、請負業者間の連絡調整が重要である。また、工事着工に先立ち、コンサルタントおよび請負業者は、次の諸点を考慮し、施工計画を作成しなければならない。

- ・自然条件
- ・労働条件および技術力
- ・両国工事負担範囲
- ・資機材調達
- ・現場搬入
- ・施工

施工監理段階において、コンサルタントは十分な技術力を備えた監理者を、現地に常駐させるとともに、総括責任者又は建築計画担当者を工事の進捗に合わせて、適宜現地に派遣し、施工監理を行う。加えて、下記の業務を実施する。

(1) 工事契約

入札参加業者の選定、工事契約書等の作成、入札準備、入札立合い、工事費内訳明細書および工事計画書の審査。

(2) 施工図の検査および承認

工事施工業者から提出される施工図、仕様書、材料見本、資機材の検査および承認。

(3) 工事の指導および検査

工事計画・工程等の検討、施工の指導、竣工検査等。

(4) 施主への報告および支払承認業務への協力等

工事進捗状況の施主への報告、施主が行う支払承認手続への協力。

日本政府関係者への工事進捗状況の報告。

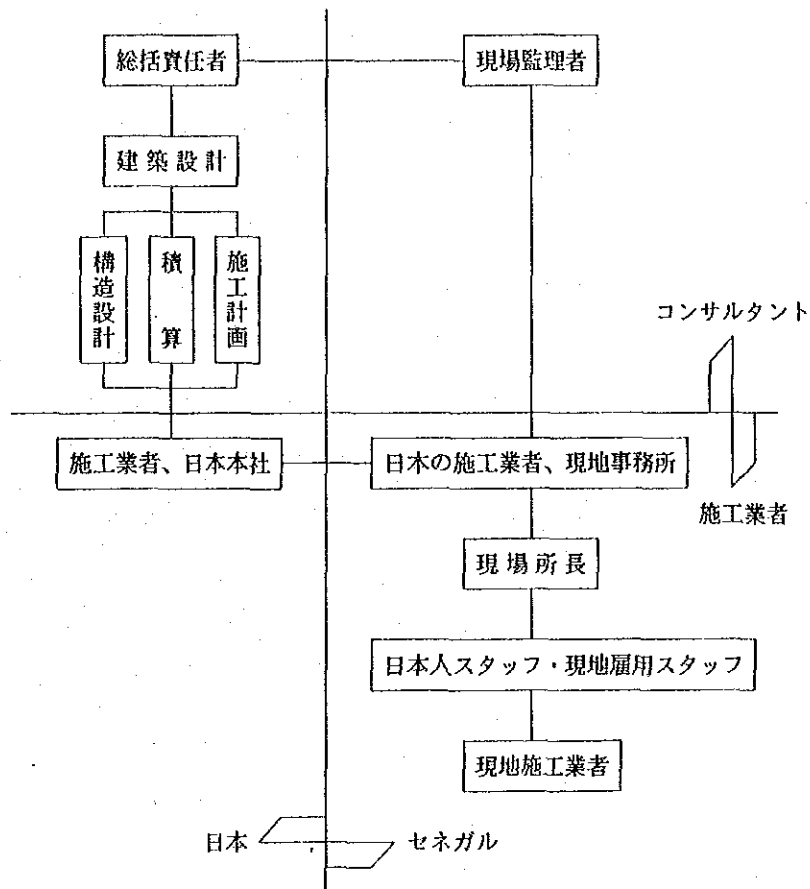


図5-2 実施設計および施工管理体制

4) 資機材調達計画

建設材料は原則として現地で調達できる材料を使用するが、品質、施工性、価格、供給能力等について十分な検討を行う。

机、椅子などの教育用機材は、メンテナンス等を考慮して現地調達品を使用する。資機材調達区分表を下表に示す。

材 料 名	セネガル国	日 本	備 考
砂	○	—	奥地で採取した川砂が入手可能 量、品質とも十分である。
砂 利	○	—	砕石工場がある。国内産の岩石を粉砕加工しており、入 手可能
セメント	○	—	国内にセメント工場が有る（原材料は輸入） 普通ポルトランドセメントは品質も良く、供給量も十分 である。
鉄 筋	○	—	スペイン、イタリア、フランスからの輸入品を現地で調達
鋼 材	○	—	スペイン、イタリア、フランスからの輸入品を現地で調達
型枠材	○	—	現地調達木材
コンクリート ブロック	○	—	国内で生産されている。品質はあまりよくない。 現場製作可能
ガラスブロック	○	—	スペイン、フランスからの輸入品を現地で調達
木 材	○	—	市場で調達可能。品質にばらつきがある
鋼製建具	○	—	鋼材をスペインより輸入し、現地で製作したものを使用
木製建具	○	—	現地製品を調達
金 物	○	—	フランスからの輸入品を現地で調達
亜鉛鍍折版	○	—	フランスからの輸入品を現地で調達
ペンキ	○	—	現地製品を調達

5) 実施工程

日本国政府の無償資金協力により、本プロジェクトが実施された場合、ダカール州と
ティエス州内に点在する155校に512教室の小学校教室に限られた期間内で効率よく完成
させるために、全体の工事を3期に分割し、それぞれの期を下記の手順で実施する。

- (1) 両国政府交換公文（E/N）締結
- (2) セネガル共和国政府と日本のコンサルタントとのコンサルタント契約
- (3) 実施設計業務……詳細設計図、仕様書、計算書、予算書の作成、セネガル国政府の
承認
- (4) 入札業務………工事入札参加資格事前審査（P/Q）
入札
工事契約
- (5) 建設工事………工事契約署名後、日本国政府の認証を得て着工する。

上記業務に必要な工期は、表5-3事業実施工程表のとおりである。

第1期—実施設計に約5ヶ月、建設工事に約12ヶ月。

第2期—実施設計に約4ヶ月、建設工事に約12ヶ月。

第3期—全上

各期の工事内容は次のとおりである。但し第2期対象小学校に対する塀建設用コンクリートブロックの供与は第3期工事に含める。

① 施設

期	IDE E	番 号	学校数	棟 数	教室数	根室・館	コンクリート・ブロック(m)
1	グア・ダカール I	GD-1~GD-4	4	7	13	0	194
	ダカール・パソユウ	BD-1~BD-14	14	20	50	10	1,712
	ピキン	PK-1~PK-8	8	9	21	5	0
期	ゲダウェイ	GW-1~GW-2、GW-4~GW-10	9	18	48	5	523
	チャロイエ	TR-2~TR-11	10	15	41	9	614
	合 計		45	69	173	29	3,043
2	ルフィスク II	RF-1~RF-19	19	34	75	18	0
	ウンブール	MB-1~MB-19、MB-21~MB-25	24	33	85	22	0
	合 計		43	67	160	40	0
3	ルフィスク II	RF-13	(1)	—	—	—	149
	ウンブール	MB-9、MB-12、MB-16	(3)	—	—	—	574
	ティエス市	TC-1、TC-2、TC-5~TC-12、TC-14~TC-17	14	19	46	11	362
	ティエス県	TD-1~TD-31	31	33	68	27	266
	ティバウアン	TV-1~TV-22	22	27	65	19	833
	合 計		67	79	179	57	2,184
総 計		155	215	512	126	5,227	

② 機 材

上記各期の施設に付属する機材

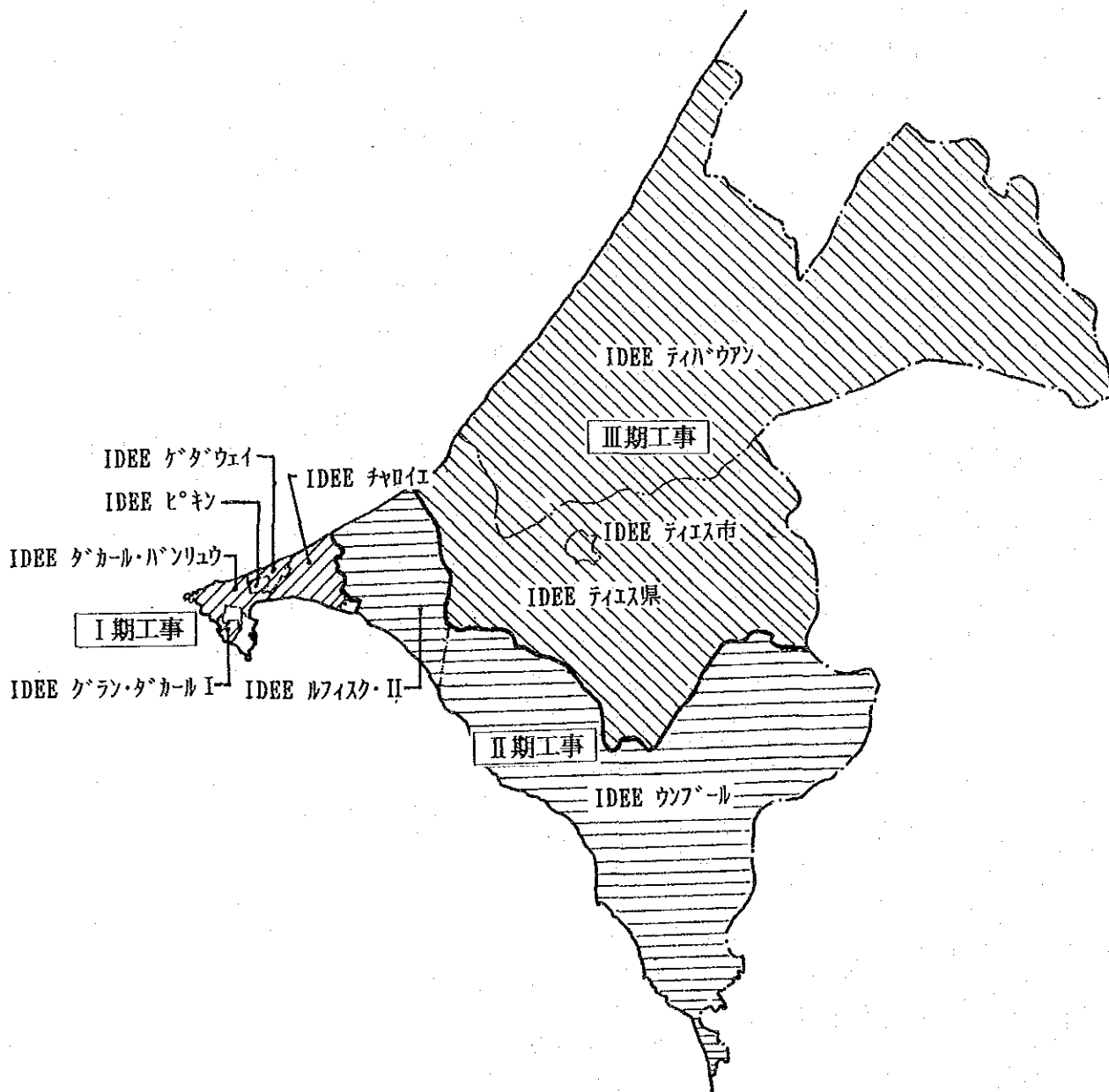


























図5-3 期分け区分図

表 5 - 3 事業実施工程表

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
第 1 期	実 施 設 計	<input type="checkbox"/> (現地調査)  (国内作業) <input type="checkbox"/> (現地作業)  (国内作業)											
	施 工 ・ 調 達	 (工事準備) (計12.0月)  (基礎工事)  (躯体工事)  (仕上工事) (機材調達)  (製造調達)  (輸送・据付)											
第 2 期	実 施 設 計	<input type="checkbox"/> (現地調査) (計4.0月)  (国内作業) <input type="checkbox"/> (現地確認)  (国内作業)											
	施 工 ・ 調 達	 (計12.0月)  (基礎工事)  (躯体工事)  (仕上工事) (機材調達)  (製造調達)  (輸送・据付)											
第 3 期	実 施 設 計	<input type="checkbox"/> (現地調査) (計4.0月)  (国内作業) <input type="checkbox"/> (現地確認)  (国内作業)											
	施 工 ・ 調 達	 (計12.0月)  (基礎工事)  (躯体工事)  (仕上工事) (機材調達)  (製造調達)  (輸送・据付)											

6) 概算事業費

(1) 積算条件

セネガル国では、本計画に必要な建設資材である砂利、砂、セメント、鉄筋、コンクリート・ブロック、ガラスブロック、亜鉛鍍金属折版等ほとんどが調達可能であり、これらの材料は現地調達とする。鋼材は生産されていないが、セネガル国内で輸入品を調達できる。また、鋼製扉、鋼製ガラリも供給量は十分で、品質も満足できるものなので、現地調達品とする。

(2) 工事範囲

① 施設工事

1. 教室、校長室および倉庫 155校215棟（教室512、校長室126、倉庫126）
2. 塀建設用コンクリート・ブロックの供与、5,227㎡分

② 機材

1. 生徒用机および椅子
2. 教員用机および椅子
3. 校長用机および椅子

③ その他

1. 実施設計および施工監理

(3) 概算事業費

本計画を日本の無償資金協力により実施する場合に必要な事業費総額は、約31.58億円となり、その経費内訳は、上記に示す積算条件によれば次のとおりと見積られる。

事業費区分	第1期	第2期	第3期	合計
a)建築費	8.36億円	8.46億円	10.40億円	27.22億円
1.直接工事	6.10億円	5.85億円	6.67億円	18.62億円
2.現場経費	1.07億円	1.01億円	1.60億円	3.67億円
3.共通仮設費等	1.19億円	1.61億円	2.13億円	4.93億円
b)機材費	0.70億円	0.59億円	0.76億円	2.06億円
c)設計・監理費	0.92億円	0.69億円	0.70億円	2.31億円
合計	9.98億円	9.74億円	11.86億円	31.58億円

積算条件

為替交換レート 1 FF = 18.69 円

1 CFA = 0.186 円

施工期間 3期による工事とし、各期に要する詳細設計、建設工事および機材調達
の期間は、表5-3に示したとおりである。

その他 本プロジェクトは、日本国政府の無償資金協力の制度に従い実施される
ものとする。

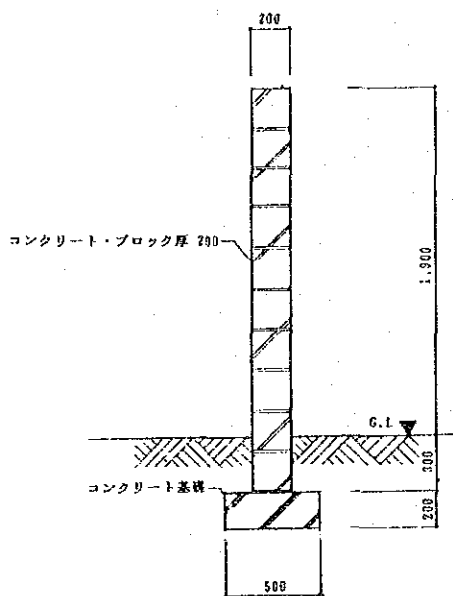
5-2 住民協力によるセネガル側負担工事

1) 基本方針

本プロジェクトの日本側で実施する教室等の建設対象校において、住民の教育への参加意識高揚を目的とし、門・塀、便所の建設・修理、および仮設教室の撤去等を住民の負担において、国民教育省の責任で実施させる。

住民協力工事項目は下記の通りである。

① 日本側のコンクリート・ブロック支給による塀の建設



② 日本側工事着工前の仮設教室等の撤去

③ 日本側工事着工前の建設箇所の整地

上記①は日本側施設完成までに、②③は日本側工事着工前に国民教育省の責任において必ず完了させる。

④ コンクリート・ブロック塀の建設

⑤ 生垣による塀の建設

⑥ 便所の新設

⑦ 便所の修理

⑧ 日本側建設工事に支障はないが、整地が望ましい箇所の敷地および道路の付けかえなど。

④～⑧については、国民教育省が責任をもって住民と十分協議を行い、すべてを実施させる様努力する。また、前出②③と同様日本側施設完成までに完成させるものとする。

尚、具体的工事範囲については4-2-3および添付資料-5の配置図に記載の通りである。

2) 概算工事費

セネガル側負担工事費は、おおよそ下記の金額が見込まれる。

1期工事 34,000,000 C F Aフラン (約13.00百万円)

2期工事 16,600,000 C F Aフラン (約 6.36百万円)

3期工事 11,400,000 C F Aフラン (約 4.30百万円)

合 計 62,000,000 C F Aフラン (約23.66百万円)

第6章 事業の効果と結論

第6章 事業の効果と結論

セネガル共和国政府は立遅れた経済の立直しを図るためには人材の育成が必須であり、そのためには初等教育の拡充が急務であるとし、教育計画-Vで1998年までに就学率を65%に向上させる目標を設定した、目標達成には、3,500教室の増設が必要であるとし、全国各州における教室の建設を計画し、世銀を初めとする各援助機関に要請を行ったが、本プロジェクトはその一貫として、ダカール州とティエス州の既存の小学校128校に教室の増設と老朽化した仮設教室の建替えを行い、加えて両州に27の学校を新設するもので、本プロジェクトを実施されれば、次の様な効果が期待できる。

現状と問題点	本計画での対策	計画の効果と改善の程度
<p>1. ダカール市、ピキン市、ティエス市などの都市部では人口流入が甚しいため、国際機関等の援助で教室の増設を行っているにもかかわらず、過去10年間就学率はほとんど伸びていない。この急増する児童を収容するため、父兄や住民による仮設教室や適正生徒数をはるかに超える過密クラスが多数出現し、教育環境の悪化を招いている。一方、農村部では援助の手が行渡らず、教室数の不足から就学率がなかなか向上しない。</p>	<p>107の小学校に対して238教室の増設を行う。</p>	<p>市街地に立地する各小学校のなかでも特に過密度の甚しい対象小学校で教室の増設を行うことにより過密クラスが解消でき、教育環境の改善が図れる。収容能力に余裕が生ずることにより、さらに多くの未就学児童を就学させることができ、就学率の向上にも貢献できる。一方、農村部では教室が増し、必要な教員配置も期待できるので、別にED-Vで計画されている就学促進キャンペーンと相俟って就学率の向上が図れる。</p>
<p>2. 市街地の小学校は敷地も狭くこれ以上、規模拡大が困難な学校が多く、急増する生徒を2部授業と過密クラスで凌いでいる。一方、農村部では、学校数が少ないので生徒は遠距離通学を余儀なくされている。</p>	<p>27の小学校を新設する。 (合計教室数は106)</p>	<p>市街地に学校を新設することにより、近隣の過密校の負担が低減し、就学率の向上のみならず、過密教室解消につながる。一方農村では通学の便がよくなり、ED-Vの就学促進キャンペーンと相俟って就学率向が図れる。特に女子の就学率向上が期待できる。</p>
<p>3. 父兄や住民による仮設教室は老朽化が甚しく、極端な場合屋根の崩落の危険すらあり、教育環境を悪化させている。</p>	<p>67の小学校に対して、168の仮設教室の建替えを行う。</p>	<p>ダカール州とティエス州の公立校の全教室数4,954のうち仮設教室は30~40%に達すると考えられる。このうち特に老朽化の著しい168教室を建替えることにより教育環境の改善が図れる。</p>

現状と問題点	本計画での対策	計画の効果と改善の程度
<p>4. セネガルの小学校では教室のみで、その他の施設が全くない学校が多い。またあっても校長室のみで教員室は皆無である。校長室がない学校では事務や、書類の保管は校長が自宅で行っており学校の管理運営上多大の不都合を生じている。また教員の会議スペースもない。</p>	<p>教室の増設、建替え対象校のうち、校長室のない126校に校長室を建設する。</p>	<p>教室の増設と建替えの対象校155校の大部分に校長室が揃うことになり学校管理運営上の不都合が解消される。</p>
<p>5. 国民教育省予算の43%を初等教育に配分しているにもかかわらず、その97%が人件費で教室の建設、維持管理に廻せる予算は全くない。その分、父兄・住民が自から仮設教室の建設、便所・塀の建設、机・椅子の修理などを行っている。即ち、学校運営は住民の協力なくしては行えず、この状況は将来とも変わらない。</p>	<p>国民教育省の責任で住民に門塀・便所の建設と修理、建替え対象仮設教室の撤去、整地などを行わせる。</p>	<p>住民協力は現在かなり良く機能しているが、本プロジェクトに住民を参加させることにより、更に教育への参加意識を高めることができ、間接的には就学率向上にも良い効果を与えることが期待される。</p>

このように、本プロジェクトが実施されれば、ダカール州およびティエス州全公立校671校のうち128校の教育環境が改善されることになり、約5万9千人の生徒を裨益する。これは現在の公立校全生徒数約35万5千人の17%に当たる。加えて、27の新設校で、将来約6千人の生徒が学ぶことができる。

本プロジェクトにより前述のように多大な効果が期待されると同時に、本プロジェクトが基礎教育の普及と言う点で、広く住民の生活向上に寄与するものであることから、本プロジェクトを無償資金協力で実施することは妥当であると判断される。

さらに、本プロジェクトの運営管理についても、セネガル共和国側体制は人員資金ともに十分あり、問題はないと考えられる。加えて、教員の質の向上や、教育カリキュラムの改善等が計られれば、本プロジェクトによる施設はより円滑かつ効果的に利用しうるであろう。

添付資料

1) 基本設計調査

PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS

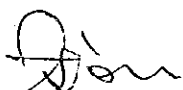
Etude du plan de base pour le Projet d'extension des salles de
classe de l'enseignement élémentaire
en République du Sénégal

En réponse à la requête du Gouvernement de la République du Sénégal, le Gouvernement du Japon a décidé l'exécution d'une étude du plan de base pour le Projet d'extension des salles de classe de l'enseignement élémentaire (appelé par la suite le "Projet"), et en a confié l'exécution à l'Agence japonaise de coopération internationale (JICA). La JICA a ainsi délégué une mission d'étude, conduite par M. MUKAI, Division 2, Etude du Plan de Base, Section de la Coopération Financière non-remboursable, Agence japonaise de coopération internationale, du 20 septembre au 30 octobre 1993 en République du Sénégal.

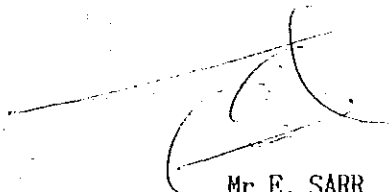
L'équipe de la mission d'étude a eu une série d'entretiens avec les responsables concernés du Gouvernement de la République du Sénégal, et effectué une étude sur place.

En conséquence, les deux parties ont convenu de recommander à leurs gouvernements respectifs d'effectuer les examens approfondis nécessaires en vue de l'exécution du Projet.

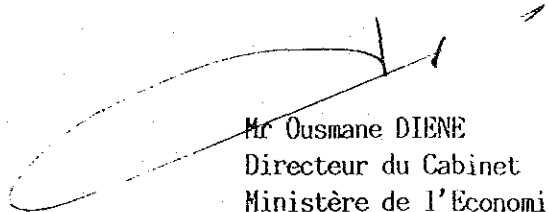
Dakar, le 30 sep. 1993



Mr I. MUKAI
Chef de la Mission de l'étude
du Plan de base
Agence japonaise
de coopération internationale



Mr E. SARR
Directeur du Cabinet
Ministère de l'Education Nationale



Mr Ousmane DIENE
Directeur du Cabinet
Ministère de l'Economie, des Finances
et du Plan

ANNEXE

1. Le Présent Projet, dénommé Projet d'extension des salles de classe de l'enseignement élémentaire, prévoit l'extension des salles de classe dans des écoles élémentaires dans les régions de Dakar et de Thiès. Cette intervention s'inscrit dans le cadre de la mise en œuvre du Projet de Développement des Ressources Humaines du Sénégal (PDRH).
2. L'organe d'exécution du projet est le Ministère de l'Éducation Nationale de la République du Sénégal (Direction de la Planification et de la Réforme de l'Éducation, la Direction de l'Administration Générale et de l'Équipement - Division des Constructions et Equipements scolaires) et l'Unité de Coordination des Projets Éducation (UCP).
3. Les sites de construction du Projet seront sélectionnés parmi les écoles énumérées dans l'Appendice 1.
4. Les principales composantes du Projet seront indiquées dans l'Appendice 2.
5. Le Gouvernement de la République du Sénégal a bien compris le système de la Coopération financière non-remboursable du Japon, qui lui a été expliqué par les membres de la mission, notamment la nécessité de confier la réalisation du Projet à un consultant japonais, ainsi qu'à une entreprise japonaise.
6. Le Gouvernement de la République du Sénégal a confirmé qu'il prendra les dispositions définies dans l'Appendice 3 pour la réalisation du Projet, au cas où le Gouvernement du Japon approuverait l'octroi de la Coopération financière non-remboursable pour le Projet.
7. Pour les écoles concernées, les installations accessoires telles que latrines, portes et clôtures, etc., qui sont autres que les installations à construire dans le cadre de la Coopération financière non-remboursable du Japon seront réalisées au plus tard un an après l'achèvement des travaux de la partie japonaise avec la participation des habitants bénéficiaires, sous la responsabilité du Ministère de l'Éducation Nationale.
8. Programme futur
 - (1) Le Consultant fera une étude jusqu'au 28 octobre dans le cadre de cette étude en République du Sénégal.
 - (2) Après le retour au Japon de la Mission, une ébauche de rapport d'étude sera rédigée, qui sera expliquée à la partie sénégalaise au cours d'une visite prévue pour début décembre 1993.
 - (3) Le rapport final sera soumis au Gouvernement de la République du Sénégal pour mars 1994.

(5)

cit

9

Appendice I

Liste des écoles

Région	IDEE	Ecoles existantes				Nouvelles écoles		Total	
		Nbre d'écoles	Nbre de salles de classe			Nbre d'écoles	Nbre de salles de classe	Nbre d'écoles	Nbre de salles de classe
			Remplacement d'abri	Extension	Total				
DAKAR	GRAND DAKAR I	4	3	12	15	-	-	4	15
	DAKAR BANLIEUE	11	3	32	35	3	15	14	50
	PIKINE	8	10	11	21	-	-	8	21
	GUEDIAWAYE	8	21	14	35	2	18	10	53
	THIAROYE	7	21	4	25	4	18	11	43
	RUFISQUE II	16	47	22	69	3	9	19	78
	Sous-total	54	105	95	200	12	60	66	260
THIES	MBOUR	19	28	42	70	7	30	26	100
	THIES - COMMUNE	13	28	15	43	4	15	17	58
	THIES-DEPARTEMENT	24	12	44	56	7	14	31	70
	TIVAOUANE	20	19	39	58	2	8	22	66
		Sous-total	76	87	140	227	20	67	96
Grand total		130	192	235	427	32	127	162	554

(S)

3

Appendice 2

Les principales composantes du projet sont comme suit.

Désignation	Spécification	Partie japonaise	Partie sénégalaise
1. Constructions:	Bâtiment de salles de classes sans étage, conformes au modèle standard de 7 m x 9 m	<input type="radio"/>	
	Bâtiment sans étage, bureau du directeur de 3 m x 7 m, et magasin	<input type="radio"/>	
	Latrines		<input type="radio"/>
	Porte, clôture, etc.		<input type="radio"/>
2. Equipements:	Tables et bancs pour les élèves	<input type="radio"/>	
	Bureau et chaise pour les enseignements	<input type="radio"/>	
	Bureau et chaise pour le directeur	<input type="radio"/>	
	Tableau noir	<input type="radio"/>	
	Armoire intégrée	<input type="radio"/>	

Appendice 3

Le Gouvernement de la République du Sénégal prendra les dispositions suivantes pour l'exécution du Projet:

1. Fourniture des données et informations nécessaires au Projet.
2. Acquisition des terrains nécessaires à la construction des installations, ainsi que leur nettoyage et nivellement avant le commencement des travaux.
3. Aménagement des voies d'accès jusqu'aux sites du Projet, si nécessaire, avant le commencement des travaux.
4. Paiement des commissions suivantes à une banque de change japonaise autorisée afin de bénéficier des services conformes à l'arrangement bancaire (B/A):
Commission sur les autorisations de paiement (A/P)
Commission sur les paiements
5. Exonération de tout impôt ou taxe des équipements et matériels apportés au Sénégal dans le cadre de la coopération financière non-remboursable, et garantie de la célérité de leur déchargement et dédouanement.
6. Exonération des équipements et matériels et services fournis par la personne physique ou morale japonaise agissant dans le cadre contractuel du Projet de tout impôt ou taxe en vigueur en République du Sénégal.
7. Assistance nécessaire à la personne physique ou morale japonaise, conformément à l'échange de Notes (fourniture des permis, autorisation, etc. nécessaires).
8. Prise en charge de tous les frais nécessaires à la construction des installations, au transport des équipements et à leur mise en place, autres que ceux relevant de la Coopération financière non-remboursable.
9. Prévision du budget et du personnel nécessaires pour assurer l'exploitation et la maintenance correctes et efficaces des installations et des équipements fournis dans le cadre de la Coopération financière non-remboursable.
10. Mesures appropriées pour la gestion et l'entretien des installations et des équipements.

Personnes rencontrées du Ministère de l'Education Nationale

- MM -Etienne SARR, Directeur du Cabinet
-Makhoumy FALL, Directeur de la Planification et de la Réforme de l'Education
-Serigne LY, Chef de la Division des Constructions et Equipements Scolaires
-Kacem BENSALAH, Coordinateur technique de l'Unité de Coordination des Projets Education

du Ministère de l'Economie, des Finances et du Plan

- MM -Ousmane DIENE, Directeur du Cabinet
-Papa Salla MBOUP, Directeur de la Coopération Economique et Financière
-Amine KEBE, Chargé de Programme (Education) DCEF, MEFP
Me -Dioh Aminata BA, Commission Mixte -Asie-Moyen Orient DCEF, MEFP

de la partie japonaise

- MM -Ichiro MUKAI, Chef de Mission JICA
-Akira TAKAHASHI, DAIKEN ARCHITECTS, INGENIEURS & CONSULTANTS. Inc.
-Noriaki MIYABE, dito
-Shokichi HIRAOKA, dito
-Tadao MARUYAMA, Interprète



協議議事録

セネガル共和国政府の要請に応じて、日本政府はセネガル共和国小学校施設拡充計画（以降“プロジェクト”）に関する基本設計調査を行うことを決定し、国際協力事業団（JICA）に調査を委託した。これを受けてJICAは、1993年9月20から10月30日まで、JICA無償資金協力調査部 基本設計調査 第二課 向井一朗 を団長とする調査団をセネガル共和国に派遣した。

調査団は、セネガル共和国政府責任者とプロジェクトに関して一連の討議を行うと共に、現地調査を行った。

調査の結果として、両者はその同意事項が、プロジェクトの実現に向けて十分調査されるべきであることを、それぞれの政府に勧告することに同意した。

ダカール 1993年9月30日

向 井 一 朗
国際協力事業団
基本設計調査団
団長

E. SARR
国民教育省
官房長

Ousmane DIENE
経済財政計画省
官房長

附 属 書

1. 本プロジェクトの名称は「小学校施設拡充計画」でその目的は、セネガル共和国 ダカール州とティエス州の小学校に対して教室の拡充をお行うことである。本プロジェクトは「人的資源開発計画」(PDRH)実施の枠内で実施される。
2. 本プロジェクトの実施機関は、セネガル共和国国民教育省(教育計画・改革局、総務・設備局・学校建設・設備部および教育計画調整課(UCP)である。)
3. 本プロジェクトの建設地は、別紙-1に示す対象校より選定する。
4. 本プロジェクトの主要項目は、別紙-2に示す。
5. セネガル共和国政府は、調査団によって説明された日本の無償資金協力のシステムにつき、本プロジェクトの遂行を日本のコンサルタント会社、及び、日本の企業に委託しなければならないことも含めて充分理解した。
6. セネガル共和国政府は、本プロジェクトに対する無償資金協力が日本国政府により認められた場合には、プロジェクト実施に対して別紙-3に示される必要措置を講ずることを確約した。
7. 対象小学校において、日本国政府の無償資金協力により実施される施設以外の、便所、門、塀など付帯施設については裨益住民の参加により、日本側の施設の完成後遅くとも1年以内に国民教育省の責任により完成させるものとする。
8. 今後のスケジュール
 - (1) 今回のセネガル共和国における調査で、コンサルタントは10月28日迄調査を実施する。
 - (2) 帰国後、調査の結果を調査報告書案に取りまとめ、1993年12月初旬セネガル共和国を訪問し、説明する。
 - (3) 最終報告書は1994年3月までにセネガル共和国政府に提出する。

別紙 - 1

県名	IDEE	既設校				新設校		合計	
		学校数	教室数			学校数	教室数	学校数	教室数
			建替え	増設	計				
ダカール	ダラン・ダカール I	4	3	12	15	—	—	4	15
	ダカール・ハソリュウ	11	3	32	35	3	15	14	50
	ビキン	8	10	11	21	—	—	8	21
	ゲダウエイ	8	21	14	35	2	18	10	53
	チャオレ	7	21	4	25	4	18	11	43
	ルフィスク II	16	47	22	69	3	9	19	78
	小計	54	105	95	200	12	60	66	260
ティエス	ムブール	19	28	42	70	7	30	26	100
	ティエス I	13	28	15	43	4	15	17	58
	ティエス II	24	12	44	56	7	14	31	70
	ティウ・アアヌ	20	19	39	58	2	8	22	66
	小計	76	87	140	227	20	67	96	294
合計		130	192	235	427	32	127	162	554

別紙 - 2

本プロジェクトの主要項目は、次のとおりである。

区 分	仕 様	日 本	住 民
1. 建 物	標準モデル7m×9mによる平屋建教室 3m×7mの平屋建校長室と倉庫 便所 門、塀	○ ○	○ ○
2. 備え付け機材	生徒用机および椅子 先生用机および椅子 校長用机および椅子 黒板 造り付け戸棚	○ ○ ○ ○ ○	

別紙 - 3

プロジェクト実施に対して、セネガル共和国政府の講ずべき措置は、次のとおりである。

1. プロジェクトに必要なデータおよび情報を提供にする。
2. 施設の建設に必要な土地を確保し、建設工事が始まる前に現場のクリアランス、整地（レベリング）を行う。
3. 建設工事が始まる前に、必要箇所については、プロジェクト・サイトまでのアクセス道路を整備する。
4. 銀行取極（B/A）にもとづくサービスを受けるために、日本公認外為銀行に次の手数料を支払う。

支払授權書（A/P）手数料

支払手数料

5. 無償資金協力により持ち込まれる資機材について、全ての税金が無税となるよう措置を講じ、それらの積み卸し、税関検査が、速やかに行われることを保証する。
6. プロジェクトに従事する日本人および日本法人の契約に基づく機材、サービスの提供に関し、セネガル共和国で課せられる全ての税を免除する。
7. 交換公文に基づき、日本人および日本法人に必要な協力を行う。
（プロジェクト実施に必要な許可、免状等を提供する。）
8. 施設の建設、資機材の輸送、設置に必要な費用について、無償資金協力以外に必要な経費については、すべて負担する。
9. 無償資金協力により提供された施設、機材が適切かつ効率的に運営維持されるよう必要な予算、人員の確保を行う。
10. 施設及び機材の維持管理に関して適切な措置を講ずる。

PROCES-VERBAL DE REUNION
ETUDE DE PLAN DE BASE DU PROJET D'EXTENSION
DES SALLES DE CLASSE DE L'ENSEIGNEMENT ELEMENTAIRE
EN REPUBLIQUE DU SENEGAL
(Présentation du projet de rapport final)

En septembre 1993, l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA) a envoyé une mission d'étude de Plan de base du Projet d'Extension des Salles de Classe de l'Enseignement Elémentaire en République du Sénégal (ci-après désigné par le Projet). Suite à une série de discussions, à l'étude sur le terrain et à l'examen technique de ces résultats au Japon, la JICA a élaboré un plan approprié et a rédigé un projet de rapport final sur l'étude de Plan de base.

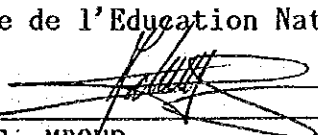
Afin de présenter ledit projet de rapport final et se concerter sur ses composantes, la JICA a envoyé une mission dirigée par Toshinobu KATO, relevant de la Division Nro 2, Etude du Plan de Base, Département d'Etude de la Coopération Financière Non-remboursable du 6 au 20 février 1994.

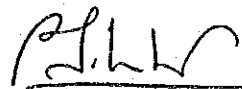
A l'issue des entretiens, les deux parties ont convenu de ce qui suit:

Dakar, le 17 février 1994

Toshinobu KATO
Chef de Mission de présentation
du projet de rapport
Agence Japonaise de
Coopération Internationale



Makhoumy FALL
Directeur de la Planification et
de la Réforme de l'Education
Ministère de l'Education Nationale

Papa Salla MBOUP
Directeur de la Coopération
Economique et Financière
Ministère de l'Economie, des Finances
et du Plan



ANNEXE

1. Contenu du projet de rapport final

La partie sénégalaise donnant en principe son accord au contenu du projet de rapport final, l'a accepté. La liste portant le nom des écoles ciblées et le nombre de classes à construire avec la coopération financière non-remboursable du Japon et les travaux des installations accessoires à exécuter sous la responsabilité du Gouvernement du Sénégal est précisée dans l'Appendice 3.

2. Système de coopération financière non-remboursable du Japon

- (1) Le Projet sera réalisé sur la base du système de coopération financière non-remboursable du Japon. La mission d'étude a présenté le système de coopération financière non-remboursable du Japon et la partie sénégalaise l'a compris.
- (2) La partie sénégalaise prendra les dispositions nécessaires figurant dans l'Appendice 1 de façon à permettre le déroulement régulier du Projet sous réserve de la réalisation du présent Projet avec la coopération financière non-remboursable du Japon.

3. Répartition des travaux des deux parties

- (1) Les travaux à la charge de la partie japonaise et ceux à la charge de la partie sénégalaise pour la réalisation du présent Projet sont tels qu'indiqués dans l'Appendice 2.
- (2) Les travaux à la charge de la partie sénégalaise figurant dans l'Appendice 2 seront achevés avec la participation des habitants bénéficiaires sous la responsabilité du Ministère de l'Education Nationale.
- (3) Parmi les travaux à la charge de la partie sénégalaise, la démolition de bâtiments existants et le terrassement requis pour la construction des locaux par la partie japonaise devront être terminés avant le début des travaux de la partie japonaise.

K

F
A

- (4) Durant la première phase, la partie japonaise mettra à la disposition de la partie sénégalaise les matériaux nécessaires à la construction des clôtures des écoles dont la réalisation est prévue dans le cadre de cette phase, conformément à l'Appendice 3. La partie sénégalaise devra terminer la construction de ces clôtures avant l'achèvement de cette phase.

Durant la troisième phase, la partie japonaise, conformément à l'Appendice 3, fournira à la partie sénégalaise les matériaux nécessaires à la réalisation des clôtures prévues dans le cadre des deuxième et troisième phases des travaux, à la condition toutefois que la partie sénégalaise ait achevé la construction des clôtures programmées dans la première phase.

La partie sénégalaise doit achever la réalisation de toutes les clôtures avant l'achèvement des travaux à la charge de la partie japonaise.

- (5) Les autres travaux à la charge de la partie sénégalaise devront également être terminés avant l'achèvement des travaux de la partie japonaise.

4. Disposition à prendre par le Gouvernement du Sénégal

Le Gouvernement du Sénégal a confirmé qu'il prendra les dispositions suivantes en vue de réaliser le Projet et d'atteindre son objectif.

- (1) Les classes devenues inutiles par suite de remplacement de salles ne seront plus mises en service.
- (2) Affectation des enseignants nécessaires pour le fonctionnement des écoles où des salles de classe seront construites par le Projet conformément à l'Appendice-4 ci-joint.
- (3) Non réalisation de salles de classe ou d'autres installations susceptibles de gêner les travaux de la partie japonaise.

5. Remise du rapport final

Le rapport final sera remis à la partie sénégalaise en avril 1994.

Appendice 1

Les dispositions devant être prises par le Gouvernement de la République du Sénégal pour la mise en œuvre du Projet sont les suivantes:

1. Remise des données et informations nécessaires au Projet.
2. Acquisition de terrains nécessaires à la construction des locaux, ainsi que leur défrichage et nivellement avant le commencement des travaux.
3. Préalablement aux travaux, aménagement des voies d'accès aux sites du Projet, si nécessaire
4. Paiement des frais suivants à une banque japonaise autorisée à effectuer les opérations de change afin de bénéficier des différents services d'après l'arrangement bancaire (B/A):
 - commissions pour les autorisations de paiement (A/P)
 - commissions pour les paiements
5. Exonération de tout impôt, taxe ou droit en faveur de tous biens ou matériels apportés au Sénégal dans le cadre de la coopération financière non-remboursable et mesures nécessaires afin de garantir la célérité de leur déchargement et dédouanement
6. Exonération de tout impôt, taxe ou droit en vigueur en République du Sénégal en faveur des biens, matériels ou services des Japonais agissant dans le cadre contractuel du Projet
7. Soutien nécessaire aux Japonais, conformément à l'Echange de Notes (remise de permis, autorisation, etc..., nécessaire à la mise en œuvre du Projet)
8. Prise en charge de tous les frais nécessaires à la construction des locaux, au transport des matériaux et à leur installation, autres que ceux prévus par la coopération financière non-remboursable
9. Mesures nécessaires sur le plan budgétaire et du personnel pour assurer une maintenance appropriée et efficace des locaux et mobiliers fournis dans le cadre de la coopération financière non-remboursable
10. Mesures appropriées pour la gestion et la maintenance des locaux et des mobiliers.

Appendice 2

Les principales composantes du Projet sont les suivantes:

1. Travaux à la charge de la partie japonaise

1) Construction de salles de classe

sans étage, 7,2 m x 9,2 m

2) Construction de bureaux du directeur et de magasins

sans étage, 7,2 m x 3,0 m

3) Mise en place des mobiliers

Tables-bancs pour les élèves

Tables et chaises pour les enseignements

Tables et chaises du directeur

Tableaux noirs

Armoires incorporées

4) Offre des parpaings de béton pour la construction des clôtures

2. Travaux à la charge de la partie sénégalaise

1) Construction des portails et des clôtures

2) Démolition des installations existantes requises pour la construction de locaux par la partie japonaise

3) Construction et réparation de latrines

4) Terrassement des zones nécessaires à la construction de locaux par la partie japonaise et des autres zones intérieures du terrain.

K

F

Appendice 3

I.D.E./NOM DE L'ECOLE	Travaux à la charge de la partie japonaise			Travaux à la charge de la partie sénégalaise					
	Salles de classe	Salle du directeur et magasin	Parpaings de béton offerts	Portes et clôtures	Démolition d'abris	Latrines		Terrassement	
						Construction	Réparation	Avant le début des travaux	Autres
1. IDEE - GRAND-DAKAR I									
GD-1 Nafissatou Niang	5		○	○					
GD-2 Masse Massaër Niane 1	2								
GD-3 Masse Massaër Niane 3	3								
GD-4 Oumar Hamet Wane	3								
Total	13	0	1	1	0	0	0	0	0
2. IDEE - DAKAR-BANLIEUE									
DB-1 Parcelles Assainies U16	4	1	○	○		○			
DB-2 Parcelles Assainies U15	6	1	○	○		○			
DB-3 Front de terre	5	1				○			
DB-4 Castors ASECNA	3	1							
DB-5 Yoff Aéroport	3								
DB-6 Parcelles Assainies R	3		○	○					
DB-7 Parcelles Assainies U9	3	1	○	○		○			
DB-8 Khar Yalla	3	1							
DB-9 H.L.M. Grand Yoff 2	6	1				○			
DB-10 Cité Diamalaye	3	1							
DB-11 Parcelles Assainies U17	2		○	○					
DB-12 Parcelles Assainies U18	3	1	○	○		○			
DB-13 H.L.M. Grand Yoff	3						○		
DB-14 Yoff 4	3	1					○		
Total	50	10	6	6	0	6	2	0	0
3. IDEE - PIKINE									
PK-1 Darou Pikine	2			○					
PK-2 Touba Diacksoo	2	1							
PK-3 El H. Elimane NDiaye	3								
PK-4 Ibrahima NDao	2			○	○				
PK-5 Mahmadane Fall	4	1			○				
PK-6 Darou Khoudoss	2	1							
PK-7 Baoré Seck	4	1		○	○				
PK-8 Colobane Lansar B	2	1							
Total	21	5	0	3	3	0	0	0	0

JK
F
D

I.D.E.E./NOM DE L'ECOLE	Travaux à la charge de la partie japonaise			Travaux à la charge de la partie sénégalaise					
	Salles de classe	Salle du directeur et magasin	Parpaings de béton offerts	Portes et clôtures	Démolition d'abris	Latrines		Terrassement	
						Construction	Réparation	Avant le début des travaux	Autres
4. IDEE - GUEDEAWAYE									
GW-1 Darou Salam	3	1		○			○		
GW-2 Pikine 16	4	1	○	○	○	○			
GW-4 Pikine 20	3					○			
GW-5 Pikine 23	9	1		○	○		○		
GW-6 Cheikh Anne	4			○		○		○	
GW-7 Parcelles Assainies "Z"	3			○		○			
GW-8 Hamo 4	4		○	○		○			
GW-9 Cité des Enseignants	12	1	○	○		○			
GW-10 Cité UNESCO-HAMO 3	6	1				○			
Total	48	5	3	7	2	7	2	1	0
5. IDEE - THIAROYE									
TR-2 MBaye Diouf	6	1			○				
TR-3 Keur MBaye Fall	5	1		○	○	○			
TR-4 Mame Wassour Seck	3	1		○					
TR-5 Moussé Anta Diop	4	1		○	○				
TR-6 Ahmet Sow	3	1		○	○		○		
TR-7 Fass Paillote	2			○	○		○		
TR-8 Cité Coopérative Rech. Scientifique	6	1	○	○		○			
TR-9 Cité Fass MBao	3	1	○	○		○			
TR-10 Cité Sicap MBao	6	1				○			
TR-11 Malika "Centre récepteur"	3	1	○	○		○			
Total	41	9	3	8	5	5	2	0	0
6. IDEE - RUFISQUE II									
RF-1 Colobane 1	7	1			○				
RF-2 Gouye Mourides A	3	1				○			
RF-3 Colobane 1 Nord	6	1				○			
RF-4 Castors "SOCOCIM"	4	1				○		○	
RF-5 Bargny Filles	2	1			○		○		
RF-6 Ecole Mixte de Bargny	5	1			○				
RF-7 Darou 2	3	1							
RF-8 Sindou	2	1				○			
RF-9 Kip-kip	4				○		○		
RF-10 Deni Biram NDao	4	1		○		○			

I.D.E./NOM DE L'ECOLE	Travaux à la charge de la partie japonaise			Travaux à la charge de la partie sénégalaise					
	Salles de classe	Salle du directeur et magasin	Parpaings de béton offerts	Portes et clôtures	Démolition d'abris	Latrines		Terrassement	
						Construction	Réparation	Avant le début des travaux	Autres
RF-11 Gorom I	2	1		○			○		
RF-12 Keur Ndiaye L6	6	1				○			
RF-13 Niaga	4	1	○	○		○			
RF-14 Kounoune	5	1				○			
RF-15 Sébi-Ponty	6	1					○		
RF-16 Toubab Dialaw	3	1				○			
RF-17 NDoyène 2	3	1		○		○			
RF-18 Médina THIoub	3	1		○		○			
RF-19 MBeuth	3	1					○		
Total	75	18	1	5	4	11	5	1	0
7. MBOUR									
MB-1 Demba Diouma Faye	7	1		○	○				○
MB-2 Sorokhassane	3	1				○			
MB-3 Kéniabour	6	1				○			
MB-4 Oumar Gueye	4				○		○		
MB-5 Daga Kholpa	6	1				○			
MB-6 Keur Balla	1	1				○			
MB-7 Mbourokh	2	1				○			
MB-8 Sop	2	1				○			
MB-9 Popenguine 2	4	1	○	○		○			
MB-10 Guéréo	5	1							
MB-11 Nguékokh	3	1				○			
MB-12 Joachim Fodé NDiaye	2	1	○	○					
MB-13 Joseph Sonar Ndiaye	3			○					
MB-14 Serigne C.A. Mbacké	5	1							
MB-15 Djilakh	3	1				○			
MB-16 Darou Salam	4	1	○	○		○			
MB-17 Tchiky	2	1		○		○			○
MB-18 Koor Djokkel Faye	2	1				○			
MB-19 Fissel 2	3	1					○		
MB-21 Médine	3	1		○		○			
MB-22 Bad	3	1		○		○			
MB-23 Balabougou	6	1				○			
MB-24 NDiarogne Ouolof	3	1				○			
MB-25 Aga NDimack	3	1				○			
Total	85	22	3	8	2	17	2	0	2

I.D.E./NOM DE L'ECOLE	Travaux à la charge de la partie japonaise			Travaux à la charge de la partie sénégalaise					
	Salles de classe	Salle du directeur et magasin	Parpaings de béton offerts	Portes et clôtures	Démolition d'abris	Latrines		Terrassement	
						Construction	Réparation	Avant le début des travaux	Autres
8. IDBE - THIES - Commune									
TC-1 Kaba Sall	2			○	○				
TC-2 Aynina Fall	3			○	○				
TC-5 Serigne Assane Fall	2								
TC-6 Gabriel NDione	3	1			○				
TC-7 Lamane Ngomack Faye	2	1					○		
TC-8 Thiès None	4	1	○	○			○		
TC-9 El H. Boubacar NDiaye	5	1		○			○		
TC-10 Sayib Ndoye	6	1				○			
TC-11 Modou Ndiaye	3	1							
TC-12 Issa Sow	1	1							
TC-14 Ecole route de MBour	3	1				○			
TC-15 Hersent	6	1				○			
TC-16 Médina Fall	3	1				○			
TC-17 Club 2/3 Adaua	3	1				○			
Total	46	11	1	4	3	5	3	0	0
9. IDEE - THIES - Département									
TD-1 Khombole 2	2						○		
TD-2 Pout 2	3	1		○			○		
TD-3 MBodiène Thiès	1			○		○			
TD-4 NDiar Tidiane	2	1		○			○		
TD-5 Beer Thialane	2	1				○		○	
TD-6 Dara	2	1				○			
TD-7 Gollam	3	1				○		○	
TD-8 Soune Sérère	4	1					○		
TD-9 Keur Dieumb Ndiaye	2	1					○		
TD-10 Keur Ablaye Diaw	1					○			
TD-11 El H. Mamadou Ndiaye	2	1				○			
TD-12 Keur Moussa	2	1	○	○		○			
TD-13 Ndié Ngom	2								
TD-14 Mbéwane Ndong	2	1							
TD-15 Séo-Khaye	2	1							
TD-16 Mbrouville	2	1				○			
TD-17 Serigne Ibrahima Seck	5	1				○			
TD-18 Samel Ndour	2	1							
TD-19 Kiakhip	2	1							
TD-20 MBampana	2	1			○				

K

F. M.

I.D.E./NOM DE L'ECOLE	Travaux à la charge de la partie japonaise			Travaux à la charge de la partie sénégalaise					
	Salles de classe	Salle du directeur et magasin	Parpaings de béton offerts	Portes et clôtures	Démolition d'abris	Latrines		Terrassement	
						Construction	Réparation	Avant le début des travaux	Autres
TD-21 Guélor	2	1						○	
TD-22 Khinine	2	1							
TD-23 Diougane	3	1							
TD-24 Piroundari	2	1						○	
TD-25 Keur Yaba Diop	2	1			○				
TD-26 Diayane	2	1							
TD-27 NDouf	2	1							
TD-28 Keur Ndiol Ndiaye	2	1				○			
TD-29 Thiangaye	2	1							
TD-30 Kielle	2	1							
TD-31 Thilla Ounté	2	1							
Total	68	27	1	4	2	10	5	4	0
10. IDEE - TIVAOUANE									
TV-1 Meckhé 4	2	1				○			
TV-2 Meckhé 3	3	1							
TV-3 Ngadim	2	1							
TV-4 Tivaouane 3	3	1							
TV-5 Tivaouane 4	12	1	○	○		○			
TV-6 Tivaouane 7	3	1	○	○				○	
TV-7 Gade Bitir	2	1							
TV-8 Note Gouye Diama	2	1		○		○		○	
TV-9 NDankh	3	1							
TV-10 Keur NDiobo	2	1							
TV-11 Ndiaye Bopp	3	1							
TV-12 Daga	3	1							
TV-13 Mérina Dakhar	4						○		
TV-14 Diamagueune	2	1							
TV-15 Thilmakha	2					○			
TV-16 Birame Dié 1. Ng. Fall	2	1							
TV-17 Fouloume	2	1							
TV-18 Ségueul Thioune	2	1							
TV-19 Dougnane	2	1							
TV-20 Kelle	2		○	○					
TV-21 Khoudiadiène	5	1							
TV-22 Khawlou	2	1							
Total	65	19	3	4	0	4	1	2	0

K

Appendice:4

Nombre d'enseignants requis par suite de la réalisation du présent Projet

1) Travaux de la 1^{ère} phase

ID.EE/Nom de l'école	Etat actuel		Après réalisation du projet		Augmentation requise
	Nbre de classes	Nbre d'enseignants	Nbre de classes	Nbre requis d'enseignants	
1. IDEE - GRAND-DAKAR I					
GD-1 Nafissatou Niang	7	7	12	12	5
GD-2 Masse Massaër Niane 1	7	7	9	9	2
GD-3 Masse Massaër Niane 3	7	7	9	9	2
GD-4 Oumar Hamet Wane	6	6	9	9	3
Total	27	27	39	39	12
2. IDEE - DAKAR-BANLJEUE					
DB-1 Parcelles Assainies U16	2	2	6	6	4
DB-2 Parcelles Assainies U15	0	0	6	6	6
DB-3 Front de terre	7	8	9	9	1
DB-4 Castors ASECNA	6	6	9	9	3
DB-5 Yoff Aéroport	6	6	9	9	3
DB-6 Parcelles Assainies R	6	6	9	9	3
DB-7 Parcelles Assainies U9	0	0	3	3	3
DB-8 Khar Yalla	9	9	12	12	3
DB-9 H.L.M. Grand Yoff 2	0	0	6	6	6
DB-10 Cité Diamalaye	6	7	9	9	2
DB-11 Parcelles Assainies U17	4	4	6	6	2
DB-12 Parcelles Assainies U18	3	3	6	6	3
DB-13 H.L.M. Grand Yoff	7	7	10	10	3
DB-14 Yoff 4	3	3	6	6	3
Total	59	61	106	106	45
3. IDEE - PIKINE					
PK-1 Darou Pikine	13	14	13	13	0
PK-2 Touba Diacksao	10	10	12	12	2
PK-3 El H. Elmanane NDiaye	9	9	12	12	3
PK-4 Ibrahima NDao	12	13	12	12	0
PK-5 Mahmadane Fall	7	7	7	7	0
PK-6 Darou Khoudoss	10	10	12	12	2
PK-7 Baoré Seck	10	10	12	12	2
PK-8 Colobane Lansar B	5	5	7	7	2
Total	76	78	87	87	11
4. IDEE - GUEDEAWAYE					
GW-1 Darou Salam	12	12	14	14	2
GW-2 Pikine 16	13	13	13	13	0
GW-4 Pikine 20	16	16	18	18	2

JK

F 21

I.D.E.E./Nom de l'école	Etat actuel		Après réalisation du projet		Augmentation requise
	Nbre de classes	Nbre d'enseignants	Nbre de classes	Nbre requis d'enseignants	
GW-5 Pikine 23	17	17	18	18	1
GW-6 Cheikh Anne	9	9	12	12	3
GW-7 Parcelles Assainies Z	6	6	9	9	3
GW-8 Hamo 4	6	7	9	9	2
GW-9 Cité des Enseignants	0	0	12	12	12
GW-10 Cité UNESCO-HAMO 3	0	0	6	6	6
Total	79	80	111	111	31
5. IDEE - THIAROYE					
TR-2 MBaye Diouf	16	16	16	16	0
TR-3 Keur MBaye Fall	6	6	8	8	2
TR-4 Mame Wassour Seck	14	14	15	15	1
TR-5 Moussé Anta Diop	13	13	13	13	0
TR-6 Ahmet Sow	5	5	6	6	1
TR-7 Fass Paillote	13	13	13	13	0
TR-8 Cité Coopérative Rech. Scientifique	0	0	6	6	6
TR-9 Cité Fass MBao	0	0	3	3	3
TR-10 Cité Siesp MBao	0	0	6	6	6
TR-11 Malika "Centre récepteur"	0	0	3	3	3
Total	67	67	89	89	22
Total pour la 1 ^{ère} phase	308	313	432	432	121

2) Travaux de la 2^e phase

I.D.E.E/Nom de l'école	Etat actuel		Après réalisation du projet		Augmentation requise
	Nbre de classes	Nbre d'enseignants	Nbre de classes	Nbre requis d'enseignants	
6. IDEE - RUFISQUE II					
RF-1 Colobane 1	10	11	11	11	0
RF-2 Gouye Mourides A	6	6	6	6	0
RF-3 Colobane 1 Nord	6	6	9	9	3
RF-4 Castors "SOCOCIM"	5	5	9	9	4
RF-5 Bargny Filles	13	14	13	13	0
RF-6 Ecole Mixte de Bargny	13	16	15	15	0
RF-7 Darou 2	6	6	6	6	0
RF-8 Sindou	5	5	6	6	1
RF-9 Kip-kip	11	11	12	12	1
RF-10 Deni Biram NDao	4	4	6	6	2
RF-11 Gorom 1	6	6	6	6	0
RF-12 Keur Ndiaye Lô	6	6	8	8	2
RF-13 Niaga	5	5	6	6	1
RF-14 Kounoune	4	4	6	6	2
RF-15 Sébi-Ponty	7	7	9	9	2
RF-16 Toubab Dialaw	2	2	3	3	1
RF-17 NDoyène 2	0	0	3	3	3
RF-18 Médina THioub	1	1	3	3	2
RF-19 MBeuth	0	0	3	3	3
Total	110	115	140	140	27
7. MBOUR					
MB-1 Demba Diouma Faye	10	10	12	12	2
MB-2 Sorokhassane	4	4	4	4	0
MB-3 Kéniabour	4	4	6	6	2
MB-4 Oumar Gueye	13	14	13	13	0
MB-5 Daga Kholpa	3	3	6	6	3
MB-6 Keur Balla	2	2	3	3	1
MB-7 Mbourokh	3	3	3	3	0
MB-8 Sop	1	1	2	2	1
MB-9 Popenguine 2	3	3	6	6	3
MB-10 Guéréo	6	6	9	9	3

K
A
F

I.D.E.E./Nom de l'école	Etat actuel		Après réalisation du projet		Augmentation requise
	Nbre de classes	Nbre d'enseignants	Nbre de classes	Nbre requis d'enseignants	
MB-11 Nguékokh	1	1	4	4	3
MB-12 Joachim Fodé NDiaye	8	8	10	10	2
MB-13 Joseph Sonar Ndiaye	9	9	11	11	2
MB-14 Serigne C.A. Mbacké	7	7	12	12	5
MB-15 Djlakh	3	3	6	6	3
MB-16 Darou Salam	2	2	6	6	4
MB-17 Tchiky	5	5	7	7	2
MB-18 Koor Djokkel Faye	4	4	6	6	2
MB-19 Fissel 2	3	3	6	6	3
MB-21 Médine	0	0	3	3	3
MB-22 Bad	0	0	3	3	3
MB-23 Balabougou	0	0	6	6	6
MB-24 NDiarogne Ouolof	0	0	3	3	3
MB-25 Aga NDimack	0	0	3	3	3
Total	91	92	150	150	59
Total pour la 2 ^e phase	201	207	290	290	86

R
F

3) Travaux de la 3^e phase

I.D.E.E/Nom de l'école	Etat actuel		Après réalisation du projet		Augmentation requise
	Nbre de classes	Nbre d'enseignants	Nbre de classes	Nbre requis d'enseignants	
8. IDEE - THIES - COMMUNE					
TC-1 Kaba Sall	12	16	12	12	0
TC-2 Aymina Fall	9	11	12	12	1
TC-5 Serigne Assane Fall	10	10	12	12	2
TC-6 Gabriel NDione	7	8	9	9	1
TC-7 Lamane Ngomack Faye	12	17	12	12	0
TC-8 Thiès None	7	8	7	7	0
TC-9 El H. Boubacar NDiaye	3	3	6	6	3
TC-10 Sayib Ndoye	4	5	6	6	1
TC-11 Modou Ndiaye	2	2	3	3	1
TC-12 Issa Sow	3	3	3	3	0
TC-14 Ecole route de MBour	0	0	3	3	3
TC-15 Hersent	0	0	6	6	6
TC-16 Médina Fall	0	0	3	3	3
TC-17 Club 2/3 Adaua	13	18	15	15	0
Total	82	101	109	109	21
9. IDEE - THIES - DEPARTEMENT					
TD-1 Khombole 2	6	6	6	6	0
TD-2 Pout 2	6	6	9	9	3
TD-3 MBodiène Thiès	2	2	3	3	1
TD-4 NDiar Tidiane	2	2	3	3	1
TD-5 Beer Thialane	2	2	3	3	1
TD-6 Dara	2	2	3	3	1
TD-7 Gollam	1	1	3	3	2
TD-8 Soune Sérère	6	6	9	9	3
TD-9 Keur Dieumb Ndiaye	4	4	6	6	2
TD-10 Keur Ablaye Diaw	2	2	3	3	1
TD-11 El H. Mamadou Ndiaye	4	4	6	6	2
TD-12 Keur Moussa	2	2	3	3	1
TD-13 Ndié Ngom	1	1	3	3	2
TD-14 Mbéwane Ndong	1	1	3	3	2
TD-15 Séo-Khaye	1	1	3	3	2
TD-16 Mbrouvaille	1	1	3	3	2
TD-17 Serigne Ibrahima Seck	6	6	10	10	4
TD-18 Samel Ndour	1	1	3	3	2
TD-19 Kiakhip	1	1	3	3	2
TD-20 MBampana	1	1	3	3	2

I.D.E.E/Nom de l'école	Etat actuel		Après réalisation du projet		Augmentation requise
	Nbre de classes	Nbre d'enseignants	Nbre de classes	Nbre requis d'enseignants	
TD-21 Guélor	1	1	3	3	2
TD-22 Khinine	1	1	3	3	2
TD-23 Diougane	3	3	6	6	3
TD-24 Piroundari	2	2	3	3	1
TD-25 Keur Yaba Diop	0	0	2	2	2
TD-26 Diayane	0	0	2	2	2
TD-27 NDouf	0	0	2	2	2
TD-28 Keur Ndiol Ndiaye	0	0	2	2	2
TD-29 Thiangaye	0	0	2	2	2
TD-30 Kielle	0	0	2	2	2
TD-31 Thilla Ounté	0	0	2	2	2
Total	59	59	117	117	58
10. IDEE - TIVAOUANE					
TV-1 Meckhé 4	4	4	6	6	2
TV-2 Meckhé 3	6	6	9	9	3
TV-3 Ngadiam	2	2	4	4	2
TV-4 Tivaouane 3	7	7	10	10	3
TV-5 Tivaouane 4	12	13	12	12	0
TV-6 Tivaouane 7	6	6	9	9	3
TV-7 Gade Bitir	4	4	4	4	0
TV-8 Notte Gouye Diama	5	5	6	6	1
TV-9 NDankh	1	1	3	3	2
TV-10 Keur NDiobo	2	2	3	3	1
TV-11 Ndiaye Bopp	4	5	6	6	1
TV-12 Daga	1	1	3	3	2
TV-13 Mérina Dakhar	8	8	12	12	4
TV-14 Diamagueune	4	4	6	6	2
TV-15 Thilmakha	7	7	9	9	2
TV-16 Birame Dié I. Ng. Fall	4	4	6	6	2
TV-17 Fouloume	1	1	3	3	2
TV-18 Ségueul Thioune	1	1	3	3	2
TV-19 Dougnane	1	1	3	3	2
TV-20 Kelle	9	9	11	11	2
TV-21 Khoudiadiène	0	0	5	5	5
TV-22 Khawlou	1	1	3	3	2
Total	90	92	136	136	45
Total pour la 3^e phase	231	252	362	362	124
Total pour les 1^{ère}, 2^e et 3^e phases	740	772	1084	1084	331

K
F *A*

協議議事録

セネガル共和国

小学校教室拡充計画基本設計調査

(ドラフト・ファイナル・レポート説明)

国際協力事業団（JICA）は、1993年9月に小学校教室拡充計画（以下プロジェクト）に関する基本設計調査団をセネガル共和国に派遣した。一連の討議と現地調査および日本における同結果の技術検討に基づいて、JICAはプロジェクトに対し適切な計画を立案し、基本設計調査のドラフト・ファイナル・レポートを作成した。

同ドラフト・ファイナル・レポートに関して説明し、その内容についてセネガル側と協議するために、JICAはJICA無償資金協力調査部 基本設計調査第二課、加藤 俊伸を団長とするドラフト・ファイナル・レポート説明調査団を1994年2月6日から2月20日まで派遣した。

一連討議の結果、両者は付属書に添付される主な項目に合意した。

ダカール 1994年2月17日

加藤 俊伸
国際協力事業団
ドラフト・ファイナル・レポート説明調査団
団長

Makhoumy FALL
国民教育省
計画・教育改革局長

Papa Salla MBOUP
経済財政計画省
経済財政協力局長

附 属 書

1. ドラフト・ファイナル・レポートの内容

セネガル側はドラフト・ファイナル・レポートの内容に、原則として同意し、受領した。
計画対象小学校名と日本の無償資金協力により建設される教室数等、およびセネガル政府の責任において実施される付帯施設等は別紙-3に示すとおりである。

2. 日本の無償資金協力システム

- (1) プロジェクトは、日本の無償資金協力システムに基づいて行われる。調査団は日本の無償資金協力システムについて説明し、セネガル側はこれを理解した。
- (2) セネガル側は本プロジェクトが日本の無償資金協力で実施されるという条件のもとで、プロジェクトが円滑に行われる様、別紙-1に記載されている必要な措置を講ずる。

3. プロジェクト達成のための両者の負担区分

- (1) 本プロジェクト実施における日本側負担工事およびセネガル側負担工事は、別紙-2に示すとおりである。
- (2) 別紙-2に記載のセネガル側負担工事は、裨益住民の参加により、国民教育省の責任により完成させる。
- (3) セネガル側負担工事のうち、日本側施設の建設に必要な、既存建物の撤去と整地は、日本側工事の着工前に、完了させる。
- (4) 第Ⅰ期工事中に、日本側はセネガル側に対し、第Ⅰ期工事で建設予定の学校の塀の建設に必要な資材を、別紙-3の通り供与する。セネガル側は第Ⅰ期工事未までに、塀の建設を完了しなければならない。

第Ⅲ工期中に、もしセネガル側が第Ⅰ期工事中に予定された塀の建設を完了していた場合に限り、日本側はセネガル側に対し、第Ⅱ期、第Ⅲ期工事に建設予定の学校の塀の建設に必要な資材を、別紙-3の通り供与する。

セネガル側は日本側負担工事の完了までに、全ての塀の建設を完了しなければならない。

- (5) その他のセネガル側負担工事は、日本側負担工事完成までに完成させる。

4. セネガル政府が講ずべき措置

セネガル政府は、プロジェクトの実施、並びにその目的の達成のため、別表-1に加えて、下記の措置を講じ ることを確認した。

- (1) 教室建替えによって不要となる教室は、以後教室として使用しない。
- (2) 本プロジェクトによって建設される教室を運営するのに必要な別表-4に示す教員を配置する。
- (3) 本プロジェクトの対象小学校において、日本側の建設工事に支障をきたす様な教室、その他の施設の建設を行わない。

5. ファイナル・レポートの提出

ファイナル・レポートは1994年4月にセネガル側に提出される。

別紙－1

プロジェクト実施に対して、セネガル共和国政府の講ずべき措置は、次のとおりである。

1. プロジェクトに必要なデータおよび情報を提供する。
2. 施設の建設に必要な土地を確保し、建設工事が始まる前に現場のクリアランス、整地（レベルリング）を行う。
3. 建設工事が始まる前に、必要箇所については、プロジェクト・サイトまでのアクセス道路を整備する。
4. 銀行取極（B/A）にもとづくサービスを受けるために、日本公認外為銀行に次の手数料を支払う。
支払授權書（A/P）手数料
支払手数料
5. 無償資金協力のため持ち込まれる資機材について、全ての税金が無税となるよう措置を講じ、それらの積み卸し、税関検査が、速やかに行われることを保証する。
6. プロジェクトに従事する日本人の契約に基づく機材、サービスの提供に関し、セネガル共和国で課せられる全ての税を免除する。
7. 交換公文に基づき、日本人に必要な協力を行う。
（プロジェクト実施に必要な許可、免状等を提供する。）
8. 施設の建設、資機材の輸送、設置に必要な費用について、無償資金協力以外に必要な経費については、すべて負担する。
9. 無償資金協力により提供された施設、機材が適切かつ効率的に維持されるよう必要な予算、人員の確保を行う。
10. 施設及び機材の維持管理に関して適切な措置を講ずる。

別紙-2

本プロジェクトの主要項目は、下記のとおりである。

1. 日本側負担工事

- 1) 教室の建設 7.2m×9.2mの平屋建
- 2) 校長室、倉庫の建設 7.2m×3.0mの平屋建
- 3) 備え付け機材 生徒用机および椅子
 教員用机および椅子
 校長用机および椅子
 黒板
 造付け戸棚
- 4) 塀建設用コンクリート・ブロックの供与

2. セネガル側負担工事

- 1) 門・塀の建設
- 2) 日本側施設の建設のために必要な既存建物の撤去
- 3) 便所の新設および修理
- 4) 日本側施設の建設のために必要な部分の整地、およびその他の敷地内の整地

別紙-3

IDEE 学校名	日本側負担工事			セネガル側負担工事					
	教室	校長室 倉庫	C.Bの 供与	門・扉	教室の 撤去	便 所		整 地	
						新 設	修 理	工事着工前	その他
1. IDEE-グランタ・カール I									
GD-1 ナフィサトゥ・ニヤング	5		○	○					
GD-2 マッス・マッサイル・ニアソ・1	2								
GD-3 // . // . 3	3								
GD-4 ウマル・ハメット・ワソ	3								
合 計	13	0	1	1	0	0	0	0	0
2. IDEE-ダカール・ハンリユウ									
DB-1 ハルセル・アセニ・U16	4	1	○	○		○			
DB-2 // . // . U15	6	1	○	○		○			
DB-3 フロント・テール	5	1				○			
DB-4 カストル・アセクナ	3	1							
DB-5 ヨッフ・アエボール	3								
DB-6 ハルセル・アセニ・“R”	3		○	○					
DB-7 // . // . U9	3	1	○	○		○			
DB-8 カル・ヤッラ	3	1							
DB-9 H.L.M. グラン・ヨッフ・2	6	1				○			
DB-10 シテ・ディアマライエ	3	1							
DB-11 ハルセル・アセニ・U17	2		○	○					
DB-12 // . // . U18	3	1	○	○		○			
DB-13 H.L.M. グラン・ヨッフ	3						○		
DB-14 ヨッフ・4	3	1					○		
合 計	50	10	6	6	0	6	2	0	0
3. IDEE-ピキン									
PK-1 タル・ピキン	2			○					
PK-2 トウバ・ディアクサオ	2	1							
PK-3 エル・H・エリアン・ウンジヤエ	3								
PK-4 イラヒマ・ウンダオ	2			○	○				
PK-5 ママタン・ファル	4	1			○				
PK-6 タル・クトス	2	1							
PK-7 ハオレ・セック	4	1		○	○				
PK-8 コバソ・ランサル・B	2	1							
合 計	21	5	0	3	3	0	0	0	0

IDEE 学校名	日本側負担工事				セネガル側負担工事				
	教室	校長室 倉庫	C.Bの 供与	門・塀	教室の 撤去	便 所		整 地	
						新 設	修 理	工事着工前	その他
4. IDEE-ゲダウェイ									
GW-1 タル・サラム	3	1		○			○		
GW-2 ピキン・16	4	1	○	○	○	○			
GW-4 ピキン・20	3					○			
GW-5 ピキン・23	9	1		○	○		○		
GW-6 シェイク・アヌ	4			○		○		○	
GW-7 ハンセル・アセニ・Z	3			○		○			
GW-8 アセ・4	4		○	○		○			
GW-9 シ・デザンニヤン	12	1	○	○		○			
GW-10 シ・ヌヌコ・アセ・3	6	1				○			
合 計	48	5	4	7	2	7	2	1	0
5. IDEE-チャロレ									
TR-2 ウンバ・イ・ディウ	6	1			○				
TR-3 ケル・ウンバ・イ・ファル	5	1		○	○	○			
TR-4 マ・ワッスル・セツ	3	1		○					
TR-5 ムペ・アンタ・ディオッ	4	1		○	○				
TR-6 アフメト・ソウ	3	1		○	○		○		
TR-7 ファス・パ・イヨット	2			○	○		○		
TR-8 シ・コオラティブ・ルシエルシ	6	1	○	○		○			
TR-9 シ・ファス・ウンバ・オ	3	1	○	○		○			
TR-10 シ・シアップ・ウンバ・オ	6	1				○			
TR-11 マリカ・サント・レブテウル	3	1	○	○		○			
合 計	41	9	3	8	5	5	2	0	0
6. IDEE-ルフィスクII									
RF-1 コバンヌ・1	7	1			○				
RF-2 クイム・リット・A	3	1				○			
RF-3 コバンヌ・1・北	6	1				○			
RF-4 カートル・ソコム	4	1				○		○	
RF-5 バルニ・女子校	2	1			○				
RF-6 バルニ・共学校	5	1			○				
RF-7 タル・2	3	1							
RF-8 シントウ	2	1				○			

IDEE 学校名	日本側負担工事			セネガル側負担工事					
	教室	校長室 倉庫	C.Bの 供与	門・扉	教室の 撤去	便 所		整 地	
						新 設	修 理	工事着工前	その他
RF-9 キップ・キップ	4				○		○		
RF-10 デニ・ビラーム・ウツダオ	4	1		○		○			
RF-11 ゴロム・1	2	1		○			○		
RF-12 ケル・ウツジャイエ・ロー	6	1				○			
RF-13 ニヤガ	4	1	○	○		○			
RF-14 クヌヌ	5	1				○			
RF-15 セビ・ポソティ	6	1					○		
RF-16 トゥバ・ブ・ディアロウ	3	1				○			
RF-17 ウト・エ・ン・2	3	1		○		○			
RF-18 マ・イ・ナ・ディウブ	3	1		○		○			
RF-19 ウンボーツ	3	1					○		
合 計	75	18	1	5	4	11	5	1	0
7.IDEE-ウツアール									
MB-1 デンバ・ディウマ・ファイ	7	1		○	○				○
MB-2 ソカサン	3	1				○			
MB-3 ケニアール	6	1				○			
MB-4 ウマル・ゲイ	4				○		○		
MB-5 タカ・コルパ	6	1				○			
MB-6 ケル・バラ	1	1				○			
MB-7 ウンブロック	2	1				○			
MB-8 ソブ	2	1				○			
MB-9 ポ・ペンギン・ヌ・2	4	1	○	○		○			
MB-10 ケレオ	5	1							
MB-11 ウンゲコック	3	1				○			
MB-12 ヨアヒム・フオデ・ウツジャイエ	2	1	○	○					
MB-13 ジョセフ・ソナル・ウツジャイ	3			○					
MB-14 セリニユ・C・A・ウンバツカ	5	1							
MB-15 ジラカ	3	1				○			
MB-16 タル・サラム	4	1	○	○		○			
MB-17 チキ	2	1		○		○			○
MB-18 コル・ジヨツカル・ファイユ	2	1				○			
MB-19 フィツル・2	3	1					○		

IDEE 学校名	日本側負担工事			セネガル側負担工事					
	教室	校長室 倉庫	C.Bの 供与	門・塀	教室の 撤去	便 所		整 地	
						新 設	修 理	工事着工前	その他
MB-21 ステイナー	3	1		○		○			
MB-22 バド	3	1		○		○			
MB-23 バラフグ	6	1				○			
MB-24 ウンジャロヌ・ウワフ	3	1				○			
MB-25 アカ・ウンティマツ	3	1				○			
合 計	85	22	3	8	2	17	2	0	2
8. IDEE-ティエス市									
TC-1 カバ・サル	2			○	○				
TC-2 マイナ・ファル	3			○	○				
TC-5 セリ・ニュー・アッサ・ヌ・ファル	2								
TC-6 ガブリエル・ウンティオン	3	1			○				
TC-7 ラマン・ウンゴ・マツ・ファイ	2	1					○		
TC-8 ティエ・ソソ	4	1	○	○			○		
TC-9 エル・H・フー・バカール・ウンジャイ	5	1		○			○		
TC-10 サイフ・ウンティ	6	1				○			
TC-11 ムトウ・ウンジャイ	3	1							
TC-12 イッサ・ソウ	1	1							
TC-14 エコル・ルート・ト・ウンワール	3	1				○			
TC-15 ヌセント	6	1				○			
TC-16 ステイナー・ファル	3	1				○			
TC-17 クラフ・2/3・アタウ	3	1				○			
合 計	46	11	1	4	3	5	3	0	0
9. IDEE-ティエス県									
TD-1 コンボル・2	2						○		
TD-2 プト・2	3	1		○			○		
TD-3 ウンティエ・ソソ・ティエス	1			○		○			
TD-4 ウンティエール・ティエス	2	1		○			○		
TD-5 ベール・ティエス	2	1				○		○	
TD-6 ダラ	2	1				○			
TD-7 ゴラム	3	1				○		○	
TD-8 スン・セレル	4	1					○		
TD-9 ケル・ティエ・ウンワ・ウンジャイ	2	1					○		

IDEE 学校名	日本側負担工事			セネガル側負担工事						
	教室	校長室 倉庫	C.Bの 供与	門・扉	教室の 撤去	便所		整地		
						新設	修理	工事着工前	その他	
TD-10	ケル・アブラレ・ディアウ	1				○				
TD-11	エル・H・ママトウ・ウジヤレ	2	1			○				
TD-12	ケル・ムサ	2	1	○	○	○				
TD-13	ウデ・イ・ウゴム	2								
TD-14	ウバ・ラヌ・ウト・ロウガ	2	1							
TD-15	セオ・カレ	2	1							
TD-16	ウフ・ルワイ	2	1			○				
TD-17	セリヌ・イフ・レマ・セック	5	1			○				
TD-18	サル・ウト・ウール	2	1							
TD-19	ニアキップ	2	1							
TD-20	ウバ・ンパナ	2	1		○					
TD-21	グロール	2	1					○		
TD-22	キニーン	2	1							
TD-23	ディウガヌ	3	1							
TD-24	ビルンダリ	2	1					○		
TD-25	ケル・ヤバ・ディアウ	2	1		○					
TD-26	ディアヤーン	2	1							
TD-27	ウンドウフ	2	1							
TD-28	ケル・ウデ・イ・ウジヤレ	2	1			○				
TD-29	ティアンガイエ	2	1							
TD-30	キエツレ	2	1							
TD-31	ティツラ・ウンテ	2	1							
合計		68	27	1	4	2	10	5	4	0
10. IDEE-ティバウアン										
TV-1	メッケ・4	2	1			○				
TV-2	メッケ・3	3	1							
TV-3	ウンガディアム	2	1							
TV-4	ティバウアン・3	3	1							
TV-5	//・4	12	1	○	○	○				
TV-6	//・7	3	1	○	○				○	
TV-7	ガドウ・ピティール	2	1							
TV-8	ノット・グレ・ディアマ	2	1		○	○			○	

I D E E 学 校 名	日本側負担工事			セネガル側負担工事					
	教 室	校 長 室 倉 庫	C.Bの 供 与	門・塀	教室の 撤 去	便 所		整 地	
						新 設	修 理	工事着工前	その他
TV-9 ウンダンク	3	1							
TV-10 ケル・ウデ ^ン イ ^ン	2	1							
TV-11 ウンジャ ^ン イ ^ン ・ホ ^ン ツ ^ン	3	1							
TV-12 ダガ	3	1							
TV-13 マ ^ン ナ ^ン ・ダ ^ン ル	4						○		
TV-14 ディアマグエーヌ	2	1							
TV-15 テイルマツカ	2					○			
TV-16 ビ ^ン ラム ^ン ・ディ ^ン イ ^ン ・I ^ン ・NG ^ン ・フ ^ン アル	2	1							
TV-17 フル ^ン ム	2	1							
TV-18 セ ^ン ガル ^ン ・ディ ^ン ウ ^ン	2	1							
TV-19 ドウニヤ ^ン ン	2	1							
TV-20 ケ ^ン ツ ^ン ル	2		○	○					
TV-21 フ ^ン ディ ^ン ア ^ン ディ ^ン エン	5	1							
TV-22 カ ^ン ウ ^ン ル	2	1							
合 計	65	19	3	4	0	4	1	2	0

別紙-4

本プロジェクト実施すめるのに必要な教員数

1) 1期工事

I D E E 学 校 名	現 状		プロジェクト実施後		増加教員数
	クラス数	教員数	クラス数	教員数	
1. IDEE-グランタガール I					
GD-1 ナフィサトウ・ニヤソグ	7	7	12	12	5
GD-2 マッス・マツサイル・ニアソ・1	7	7	9	9	2
GD-3 // . // . 3	7	7	9	9	2
GD-4 ウマル・ハメット・ワソ	6	6	9	9	3
合 計	27	27	39	39	12
2. IDEE-タガール・ハンリユウ					
DB-1 ハルセル・アセニ・U16	2	2	6	6	4
DB-2 // . // . U15	0	0	6	6	6
DB-3 フロント・テール	7	8	9	9	1
DB-4 カストル・アセクナ	6	6	9	9	3
DB-5 ヨッフ・アエドホール	6	6	9	9	3
DB-6 ハルセル・アセニ・“R”	6	6	9	9	3
DB-7 // . // . U9	0	0	3	3	3
DB-8 カール・ヤッラ	9	9	12	12	3
DB-9 H・L・M・グレン・ヨッフ°・2	0	0	6	6	6
DB-10 シテ・デアアマライエ	6	7	9	9	2
DB-11 ハルセル・アセニ・U17	4	4	6	6	2
DB-12 // . // . U18	3	3	6	6	2
DB-13 H・L・M・グレン・ヨッフ	7	7	10	10	3
DB-14 ヨッフ・4	3	3	6	6	3
合 計	59	61	106	106	45
3. IDEE-ピキン					
PK-1 タル・ヒキソ	13	14	13	13	0
PK-2 トウハ・デアクサオ	10	10	12	12	2
PK-3 エル・H・エリアソ・ウンジヤエ	9	9	12	12	3
PK-4 イアラヒマ・ウンダオ	12	13	12	12	0
PK-5 ママタン・ファル	7	7	7	7	0
PK-6 タル・クドス	10	10	12	12	2
PK-7 ハオレ・セック	10	10	12	12	2
PK-8 コロハソ・ランサール・B	5	5	7	7	2
合 計	76	78	87	87	11

I D E E 学 校 名	現 状		プロジェクト実施後		増加教員数
	クラス数	教員数	クラス数	教員数	
4. IDEE-ゲダウェイ					
GW-1 タル・サラム	12	12	14	14	2
GW-2 ヒ°キン・16	13	13	13	13	0
GW-4 ヒ°キン・20	16	6	18	18	2
GW-5 ヒ°キン・23	17	17	18	18	1
GW-6 シェック・アソヌ	9	9	12	12	3
GW-7 ハ°ルセル・アセニ・Z	6	6	9	9	3
GW-8 アモ・4	6	6	9	9	2
GW-9 シテ・テ°・サ°ンセニヤン	0	0	12	12	12
GW-10 シテ・ユネスコ・アモ・3	0	0	6	6	6
合 計	79	79	111	111	31
5. IDEE-チャロイ					
TR-2 ウンハ°イェ・テ°イウフ	16	16	16	16	0
TR-3 ケル・ウンハ°イェ・ファル	6	6	8	8	2
TR-4 マム・ワッスル・セック	14	14	15	15	1
TR-5 ムッセ・アンタ・テ°イオツプ°	13	13	13	13	0
TR-6 アフメット・ソウ	5	5	6	6	1
TR-7 ファス・ハ°イヨット	13	13	13	13	0
TR-8 シテ・コ°オ°ラティブ°ルセルシュ	0	0	6	6	6
TR-9 シテ・ファース・ウンハ°オ	0	0	3	3	3
TR-10 シテ・シカフ°・ウンハ°オ	0	0	6	6	6
TR-11 マリカ・サントロ・レセフ°テウール	0	0	3	3	3
合 計	67	67	89	89	22
1 期 工 事 合 計	308	313	432	432	121

2) 2期工事

I D E E 学 校 名	現 状		プ <small>ロ</small> ジェ <small>ク</small> ト実施後		増加教員数
	クラス数	教員数	クラス数	教員数	
6. IDEE-ルフィスクII					
RF-1 コロハンス・1	10	11	11	11	0
RF-2 クイエム・リット・A	6	6	6	6	0
RF-3 コロハンス・1・北	6	6	9	9	3
RF-4 カストル・ソコム	5	5	9	9	4
RF-5 ハルニー・女子校	13	14	13	13	0
RF-6 ハルニー・共学校	13	16	15	15	0
RF-7 タル・2	6	6	6	6	0
RF-8 シントウ	5	5	6	6	1
RF-9 キップ・キップ	11	11	12	12	1
RF-10 テニ・ヒラム・ウソグオ	4	4	6	6	2
RF-11 コロム・1	6	6	6	6	0
RF-12 ケール・ウソグヤイエ・ロー	6	6	8	8	2
RF-13 ニヤカ	5	5	6	6	1
RF-14 クヌヌ	4	4	6	6	2
RF-15 セヒ・ホソティ	7	7	9	9	2
RF-16 トウハーフ・ティアロウ	2	2	3	3	1
RF-17 ウント・エーン・2	0	0	3	3	3
RF-18 メティーナ・ティウツ	1	1	3	3	2
RF-19 ウンホーツ	0	0	3	3	3
合 計	110	115	140	140	27
7. IDEE-ウンゾール					
MB-1 テンハ・ティウーマ・ファイ	10	10	12	12	2
MB-2 ソロカサン	4	4	4	4	0
MB-3 ケニアゾール	4	4	6	6	2
MB-4 ウマル・ケイ	13	14	13	13	0
MB-5 タカ・コルハ	3	3	6	6	3
MB-6 ケール・ハラ	2	2	3	3	1
MB-7 ウンゾロック	3	3	3	3	0
MB-8 ソブ	1	1	2	2	1
MB-9 ホペンキーンヌ・2	3	3	6	6	3
MB-10 ケレオ	6	6	9	9	3
MB-11 ウンケツック	1	1	4	4	3
MB-12 ヨアヒム・フォテ・ウソグヤイエ	8	8	10	10	2

I D E E 学 校 名	現 状		プロジェクト実施後		増加教員数
	クラス数	教員数	クラス数	教員数	
MB-13 ショセフ・ソナル・ウシヤイ	9	9	11	11	2
MB-14 セリニユ・C・A・ウソハツク	7	7	12	12	5
MB-15 シラク	3	3	6	6	3
MB-16 タル・サラム	2	2	6	6	4
MB-17 チキ-	5	5	7	7	2
MB-18 コル・シヨツケル・ファイユ	4	4	6	6	2
MB-19 フィツセル・2	3	3	6	6	3
MB-21 メティーナ	0	0	3	3	3
MB-22 バド	0	0	3	3	3
MB-23 ハラフク	0	0	6	6	6
MB-24 ウシヤロソヌ・ウオロフ	0	0	3	3	3
MB-25 アカ・ウンテイマツク	0	0	3	3	3
合 計	91	91	150	150	59
2 期 工 事 合 計	201	207	290	290	86

3) 3期工事

I D E E 学 校 名	現 状		ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実施後		増加教員数
	クラス数	教員数	クラス数	教員数	
8. IDEE-ティエス市					
TC-1 カハ・サル	12	16	12	12	0
TC-2 マイナ・ファル	9	11	12	12	1
TC-5 セリ・ニュー・アッサ・ヌ・ファル	10	10	12	12	2
TC-6 ガブリエル・ウンディオン	7	8	9	9	1
TC-7 ラマン・ウンゴマック・ファイエ	12	17	12	12	0
TC-8 テイエス・ノン	7	8	7	7	0
TC-9 エル・H・フーバ・カール・ウンジヤイ	3	3	6	6	3
TC-10 サブ・ウント・イェ	4	5	6	6	1
TC-11 ムトウ・ウンジヤイ	2	2	3	3	1
TC-12 イッサ・ソウ	3	3	3	3	0
TC-14 エコル・ルート・ト・ウンフール	0	0	3	3	3
TC-15 ヘルセント	0	0	6	6	6
TC-16 メディナ・ファル	0	0	3	3	3
TC-17 クラブ・2/3・アタウア	13	18	15	15	0
合 計	82	101	109	109	21
9. IDEE-ティエス県					
TD-1 コンボル・2	6	6	6	6	0
TD-2 プト・2	6	6	9	9	3
TD-3 ウンボ・ティエ・ン・ティエス	2	2	3	3	1
TD-4 ウンディアール・ティティアン	2	2	3	3	1
TD-5 ベール・ティアラン	2	2	3	3	1
TD-6 ダラ	1	1	3	3	2
TD-7 グラム	6	6	9	9	3
TD-8 スン・セレル	4	4	6	6	2
TD-9 ケル・ティウソフ・ウンジヤイ	2	2	3	3	1
TD-10 ケル・アフリアイ・ティアウ	4	4	6	6	2
TD-11 エル・H・ママトウ・ウンジヤイ	2	2	3	3	1
TD-12 ケル・ムッサ	1	1	3	3	2
TD-13 ウンディアエ・ウンゴム	1	1	3	3	2
TD-14 ウンハワーヌ・ウント・ロンク	1	1	3	3	2
TD-15 セオ・カイ	1	1	3	3	2
TD-16 ウンブルワイ	1	1	3	3	2

I D E E 学 校 名	現 状		ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実施後		増加教員数
	クラス数	教員数	クラス数	教員数	
TD-17 セリス・イブ・ラビ・セック	6	6	10	10	4
TD-18 サム・ウント・ウール	1	1	3	3	2
TD-19 ニアキップ	1	1	3	3	2
TD-20 ウンハンパナ	1	1	3	3	2
TD-21 ゲロール	1	1	3	3	2
TD-22 キニーン	1	1	3	3	2
TD-23 ディウガヌ	3	3	6	6	3
TD-24 ビルンダリ	2	2	3	3	1
TD-25 ケル・ヤハ・ディオツ	0	0	2	2	2
TD-26 ディアヤーン	0	0	2	2	2
TD-27 ウンドウフ	0	0	2	2	2
TD-28ケル・ウンディオル・ウンジヤエ	0	0	2	2	2
TD-29 ティアンガイエ	0	0	2	2	2
TD-30 キエツレ	0	0	2	2	2
TD-31 ティツラ・ウンテ	0	0	2	2	2
合 計	59	59	117	117	58
10. IDEE-ティバウアン					
TV-1 メッケ・4	4	4	6	6	2
TV-2 メッケ・3	6	6	9	9	3
TV-3 ウンガディアム	2	2	4	4	2
TV-4 ティバウアン・3	7	7	10	10	3
TV-5 // ・4	12	13	12	12	0
TV-6 // ・7	6	6	9	9	3
TV-7 ガドウ・ピティール	4	4	4	4	0
TV-8 ノット・グイ・ディアマ	5	5	6	6	1
TV-9 ウンダク	1	1	3	3	2
TV-10 ケル・ウンディホル	2	2	3	3	1
TV-11 ウンジヤエ・ホツ	4	5	6	6	1
TV-12 ダガ	1	1	3	3	2
TV-13 メリナ・ダハル	8	8	12	12	4
TV-14 ディアマグエーヌ	4	4	6	6	2
TV-15 テイルマツカ	7	7	9	9	2
TV-16 ビラム・ディエ・I・NG・ファル	4	4	6	6	2
TV-17 フルーム	1	1	3	3	2
TV-18 セガル・ティウン	1	1	3	3	2

I D E E 学 校 名	現 状		プロジェクト実施後		増加教員数
	クラス数	教員数	クラス数	教員数	
TV-19 ドウニャーン	1	1	3	3	2
TV-20 ケッル	9	9	11	11	2
TV-21 フディアディエン	0	0	5	5	5
TV-22 カウル	1	1	3	3	2
合 計	90	92	136	136	45
3 期 工 事 合 計	740	772	1084	1084	331

添付資料 - 2 調査日程

1) 基本設計調査

9 / 20 (月)	東京→パリ	
21 (火)	パリ→ダカール	
22 (水)	日本国大使館、JICA事務所、大蔵省、国民教育省、表敬 調査目的、日程説明	
23 (木)	世銀ダカール事務所、国民教育省、フランスNGOと協議	
24 (金)	第1グループ 国民教育省と協議 (基本事項) 第2グループ 同上 (現地調査方針)	
25 (土)	調査結果および資料整理	
26 (日)	団内会議	
27 (月)	官団員、業務主任、通訳 フランス大使館と協議	建築計画、施設計画 現地コンサルタント現地調査 方法打合せ
28 (火)	ダカール近郊の小学校視察 AGETIP (公共事業公団) と協議	対象小学校調査
29 (水)	国民教育省、ドイツ大使館と協議 世銀ダカール事務所と協議	↓
30 (木)	国民教育省と協議議事録打合せ 大蔵省統計局にて資料収集	
10 / 1 (金)	対象小学校調査 (第2グループへ合流)	
2 (土)	調査結果整理、打合せ 向井団長帰国	
3 (日)	団内会議	
4 (月)	国民教育省と打合せ (情報資料収集)	対象小学校調査
5 (火)	積算調査	↓
6 (水)	↓	
7 (木)		
8 (金)	ダカール→パリ	調査結果の整理
9 (土)	パリ	同上
10 (日)	→ 東京	調査結果整理
10 / 11 (月)		対象小学校調査
12 (月)		↓
15 (金)		調査結果整理
16 (土)		
17 (日)		同上
18 (月)		対象小学校調査
19 (月)		↓
21 (木)		
22 (金)		フランスNGOと協議
23 (土)		調査結果整理
24 (日)		↓
27 (水)		
28 (木)		国民教育省と協議
29 (金)		日本国大使館、JICA事業所へ報告
30 (土)		ダカール → ロンドン
31 (日)		ロンドン → 東京
11 / 1 (月)		

2) ドラフト説明調査

- 2/6 (日) 東京→パリ
- 7 (月) パリ→ダカール
- 8 (火) JICA事務所、日本国大使館、大蔵省、国民教育省、表敬
調査目的、日程説明
- 9 (水) 国民教育省、計画・教育改革局と協議
- 10 (木) 対象小学校、3校補足調査
- 11 (金) 国民教育省、計画・教育改革局、各IDEEと協議
- 12 (土) 資料整理
- 13 (日) 団内会議
- 14 (月) 国民教育省、計画・教育改革局と協議、積算補足調査
加藤団長到着
- 15 (火) 加藤団長に協議経緯報告
国民教育省と協議、大蔵省表敬
- 16 (水) フランス大使館、ドイツ大使館、世銀、フランスNGO表敬
- 17 (木) 議事録署名
- 18 (金) JICA事務所、日本大使館へ調査、協議結果報告
ダカール発
- 19 (土) パリ着、パリ発
- 20 (日) 東京帰着

添付資料－3 調査団員構成

1) 基本設計調査

向 井 一 朗	総 括	国際協力事業団 無償資金協力調査部 基本設計調査 第二課
高 橋 晶	業務主任者	(株)大建設計
宮 部 憲 明	建築設計	全 上
平 岡 省 吉	施設計画	全 上
丸 山 忠 雄	通 訳	全 上

2) ドラフト説明調査

加 藤 俊 二	総 括	国際協力事業団 無償資金協力調査部 基本設計調査 第二課
高 橋 晶	建築主任者	(株)大建設計
宮 部 憲 明	建築設計	全 上
丸 山 忠 雄	通 訳	全 上

添付資料－４ 面会者リスト

1) 基本設計調査

(1) 在セネガル日本大使館

塚原大貳 一等書記官

(2) JICA セネガル事務所

朝日紀樹 所長

三浦和紀 所員

(3) 国民教育省

E. サール 官房長

マクミ・ファル 計画・教育改革局長

セリーニュ・リ 学校建設機材局 主任

カセム・ベンサラール 教育プロジェクト局技術総合コーディネータ

イブラヒマ・バ 計画・教育改革局、人的資源開発計画部長

アブデル・カデル・シ 計画・教育改革局、学校計画部長

バドラ・バ 計画・教育改革局、学校計画部

アブドゥラフマン・ウンゴム 同上

(4) 大蔵省

ウスマン・ジェン 官房長

パバ・サラ・ウンブップ 経済協力局長

アミーヌ・ケベ 経済協力局、教育計画担当官

ジオー・アミナタ・バ 経済協力局、アジア・中東担当官

(5) 世銀ダカール事務所

アラサン・ケバ・ディアワラ 担当官

(6) AGETIP (雇用促進・公共事業公団)

マガット・ワデ 総裁

ママドゥ・ウンジャイ 総務・経理部長

イブラヒマ・ウンジャイ 技術部長

(7) フランスNGO

パトリック・ボギノ 所長

ジャック・マルベル 所長(交代予定者)

ラミー・タル 所員

(8) フランス大使館

フィリップ・ボンクール 参事官

(9) ドイツ大使館

ハインツ・G・ウィルヘルム

参事官

2) ドラフト説明調査

(1) 在セネガル日本国大使館

長 沢 秀 一

書記官

(2) JICAセネガル事務所

朝 日 紀 樹

所長

青 木 利 通

所員

(3) 国民教育省

コルギ・イエリム・ファル

官房長

マクミ・ファル

計画・教育改革局長

ディオジュ・ウンドール

幼児初等教育局長

アブデル・カデル・シ

計画・教育改革局、学校計画部長

バドラ・バ

計画・教育改革局、学校計画部

アブドラフマン・ウンゴム

計画・教育改革局、学校計画部

イドリッサ・ジャヌ

インスペクター、IREE-ダカール

イブラヒマ・ユー

インスペクター、IREE-ティエス

ハディ・ニヤング・ジャロ

インスペクター、IDEE-グラン・ダカール・1

スレイマン・ウンバイエ

インスペクター、IDEE-ダカール・バンリュウ

イブラヒマ・カヌ

インスペクター、IDEE-ピキン

シエイク・マラミン・ジャイ

インスペクター、IDEE-ゲダウエイ

マクト・セック

インスペクター、IDEE-チャロイエ

モール・ウンジャイ

インスペクター、IDEE-ルフィスク・2

ティディアン・マヌ

インスペクター、IDEE-ウンブール

ウンジェ・ファトマ・ファル

インスペクター、IDEE-ティエス市

アローナ・タル

インスペクター、IDEE-ティエス県

ババ・マデファル・ゲイ

インスペクター、IDEE-デイバウアン

(4) 大蔵省

ババ・サラ・ウンブツ

経済協力局長

アミーヌ・ケベ

経済協力局、教育計画担当官

(5) 世銀ダカール事務所

アラサン・ケバ・ディアワラ 担当官

(6) フランス大使館

フィリップ・ボンクール

参事官

(7) ドイツ大使館

ハインツ・G・ウイルヘルム 参事官

(8) フランスNGO

ジャック マルベル 所長

ラミー・タル 所員